

統計からみたやまなし

— 平成30年度 —



山梨県

山梨県のシンボル

県の鳥 うぐいす



春を告げる鳥として親しみ愛される鳥で、他の鳥のひなを育てるという習性を持っているため「明朗と慈愛」を表しています。 昭和39年6月制定

県の木 かえで



その葉は、秋、霜をうけて紅葉しますその様は「山々の男ぶり見よ甲斐の秋」(虚子)などよまれています。 昭和41年9月制定

県の花 ふじざくら



きびしい富士の雪風に耐えて、つつましやかに咲く花は「和と忍耐」を表しています。昭和29年制定

県の獣 かもしか



高山のきびしい自然に耐えて生きているところが「忍耐・努力」を表しています。昭和39年6月制定

目次

山梨ってどんな県? 2

グラフでみるやまなし

自然・気象 4

人口 5

経済 7

事業所 8

工業 9

商業 11

農業 12

労働 13

物価 14

家計 15

福祉・医療 16

社会生活 17

教育 18

交通・通信・エネルギー 19

観光・国際交流 20

居住環境 21

災害・事故 22

統計グラフコンクール入賞作品集 23

表紙の説明

「甲府えきで外国人100人インタビュー
だいせいこう!!」

「第66回山梨県統計グラフコンクール」知事賞の
山梨学院小学校2年 大代 花凜さんの作品です。

山梨ってどんな県？

全国順位上位3位以内の主なものを
分野別に掲載しました。

自然

■森林面積割合(対総面積)



平成26年度
全国3位 77.8%

■日照時間(年間)



平成29年度
全国1位 2,357時間

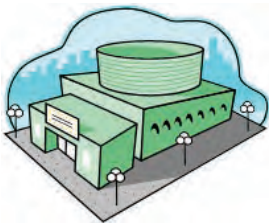
文化

■図書館数(人口100万人当たり)



平成27年度
全国1位 65.9館

■公民館数(人口100万人当たり)



平成27年度
全国2位 585.7館

■博物館数 (人口100万人当たり)



平成27年度
全国2位 34.7館

安全

■消防水利数(人口10万人当たり)



平成29年度
全国1位 3,721.7所

福祉・医療

■老人福祉センター数 (65歳以上人口10万人当たり)



平成28年度
全国2位 11.6所

■健康寿命



平成28年
男性 全国1位 73.21歳
女性 全国3位 76.22歳

農業

■ぶどう収穫量(年間)



平成29年
全国1位 43,200 t

資料:統計でみる都道府県のすがた 2019(総務省統計局)

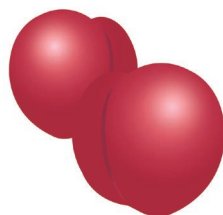
資料:厚生科学審議会第11回健康日本21(第二次)推進専門委員会

■もも収穫量(年間)



平成29年
全国1位 39,200 t

■すもも収穫量(年間)



平成29年
全国1位 6,690 t

工業

■事業所数 貴金属製装身具



平成29年
全国1位 96事業所

資料:作物統計調査(農林水産省)

工業

- 出荷額(年間)
ミネラルウォーター



平成28年
全国1位 43,999百万円

資料:平成29年 工業統計調査(経済産業省)

- 生産量
日本ワイン



平成29年度
全国1位 5,530kℓ

資料:果実酒製造業者実態調査(国税庁)

家計

- 支出金額(1世帯当たり年間)
ぶどう



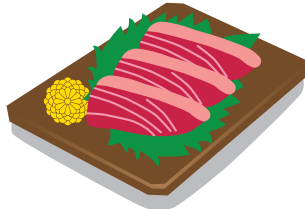
平成27年~29年平均
全国1位 6,554円

- 支出金額(1世帯当たり年間)
あさり



平成27年~29年平均
全国1位 1,309円

- 支出金額(1世帯当たり年間)
まぐろ



平成27年~29年平均
全国2位 9,334円

- 支出金額(1世帯当たり年間)
もも



平成27年~29年平均
全国3位 4,198円

資料:家計調査(二人以上の世帯)「食料」品目別支出金額の都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング(統計調査課)

- 支出金額(1世帯当たり年間)
書籍



平成27年~29年平均
全国1位 12,491円

- 支出金額(1世帯当たり年間)
人間ドック等受診料



平成27年~29年平均
全国1位 6,557円

- 支出金額(1世帯当たり年間)
ヘアカラーリング剤



平成27年~29年平均
全国1位 2,033円

資料:平成29年 家計調査 結果報告書~山梨県の家計~(統計調査課)

社会生活

- 1日の食事時間



平成28年
全国1位 1時間45分

- 「ボランティア活動」の行動者率(年間)
(障害者を対象とした活動)



平成28年
全国1位 2.0%

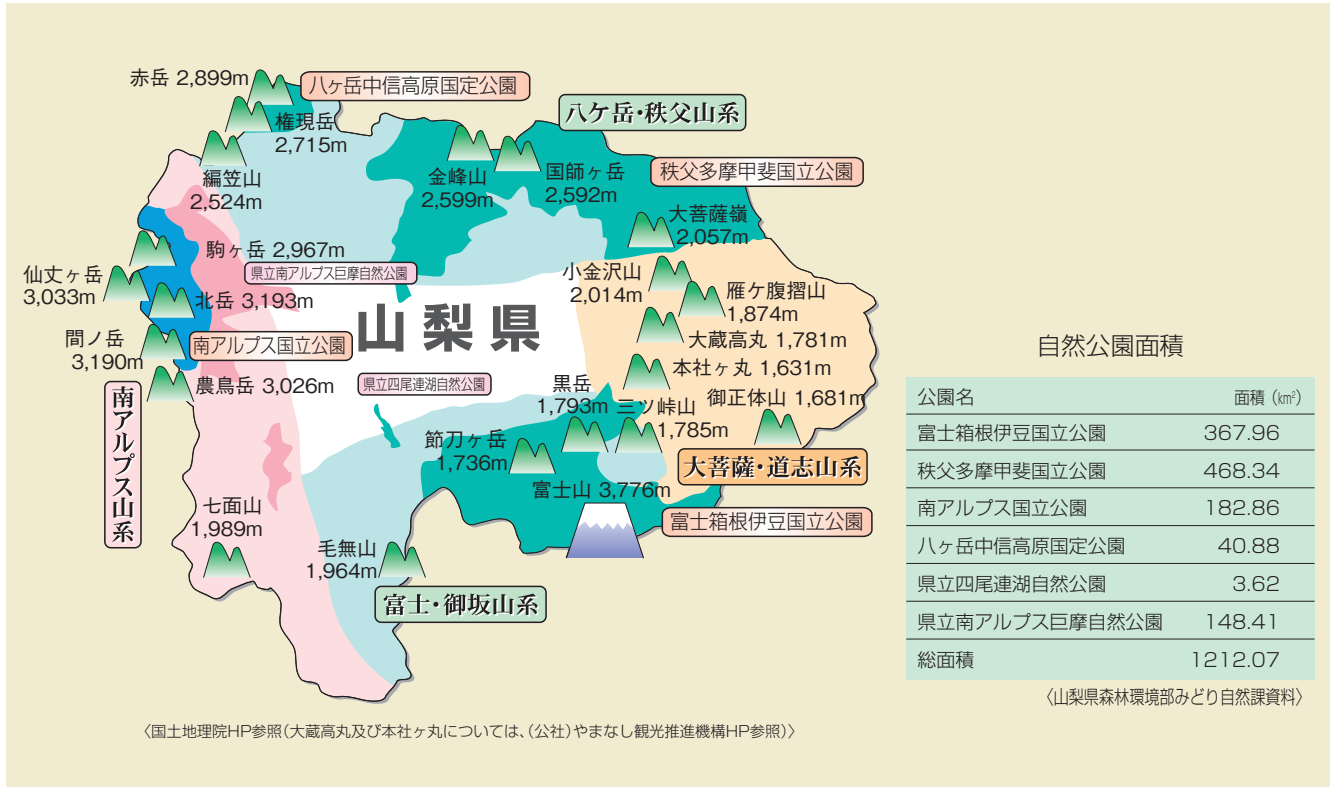
- 「ゲートボール」の行動者率(年間)



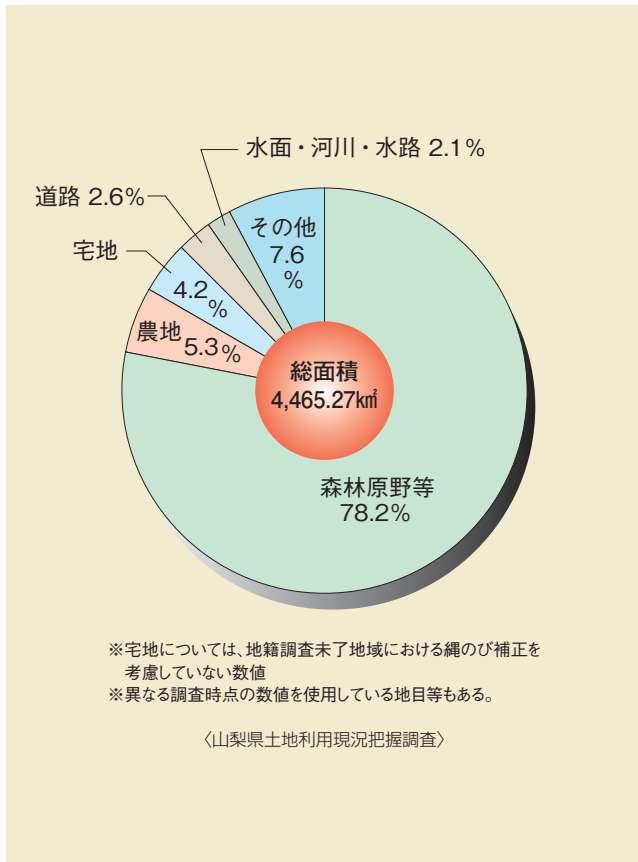
平成28年
全国2位 1.8%

資料:平成28年 社会生活基本調査 結果報告書(統計調査課)

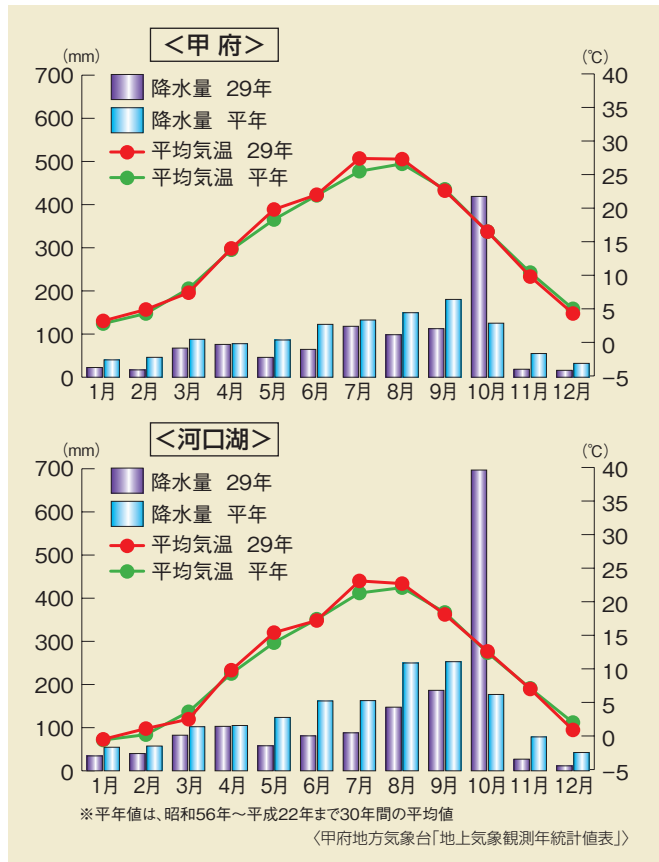
主な山梨百名山・自然公園面積



山梨県土地利用状況 (平成29年10月1日)



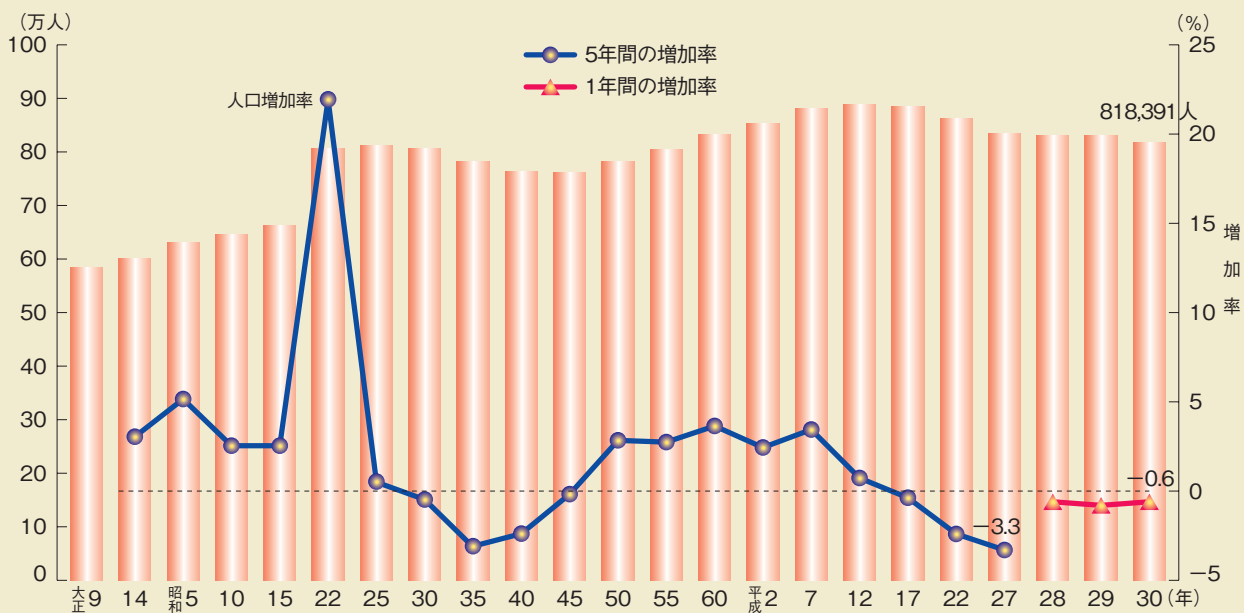
月別平均気温と降水量 (平成29年)



本県は、富士山をはじめ南アルプス、八ヶ岳、奥秩父などを擁する日本でも有数の山岳県ですが、これらの山々の中からハイキングを楽しめる身近な山から本格的な登山向きの山まで多種多様な山を選び「山梨百名山」として紹介しています。また、従来8月8日をやまなし「山の日」と定め、ふるさとの山や森を見つめ直し、その恩恵に感謝する日としてきました。平成28年からは8月11日が祝日「山の日」となり、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日となりました。

人口

本県人口及び人口増加率の推移 (大正9年～平成30年)

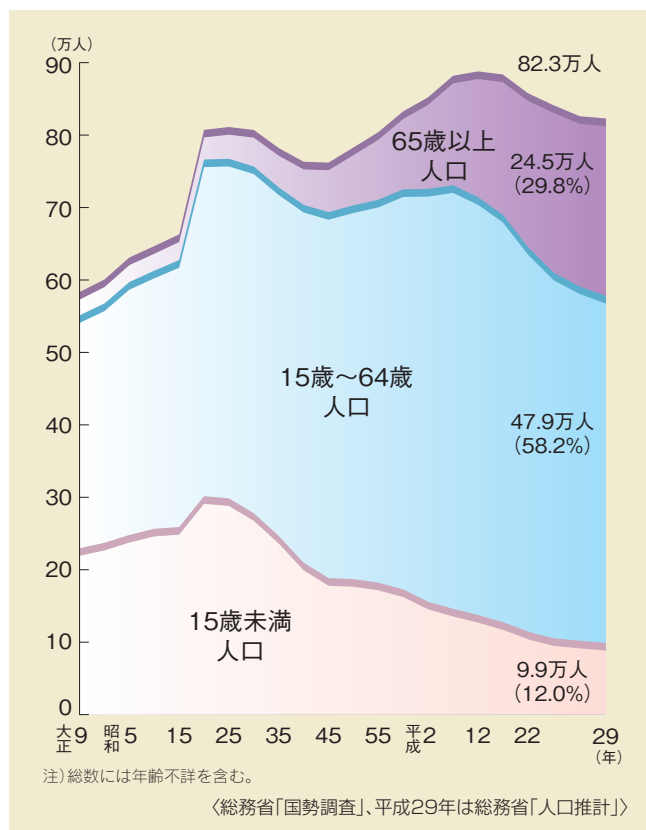


初めての国勢調査が行われた大正9年の人口は583,453人でしたが、以後増加を続け、昭和22年には807,251人と初めて80万人を記録。その後減少したものの、昭和50年からは増加に転じ、平成12年に888,172人と最多となりました。しかし、平成17年には再び減少に転じました。

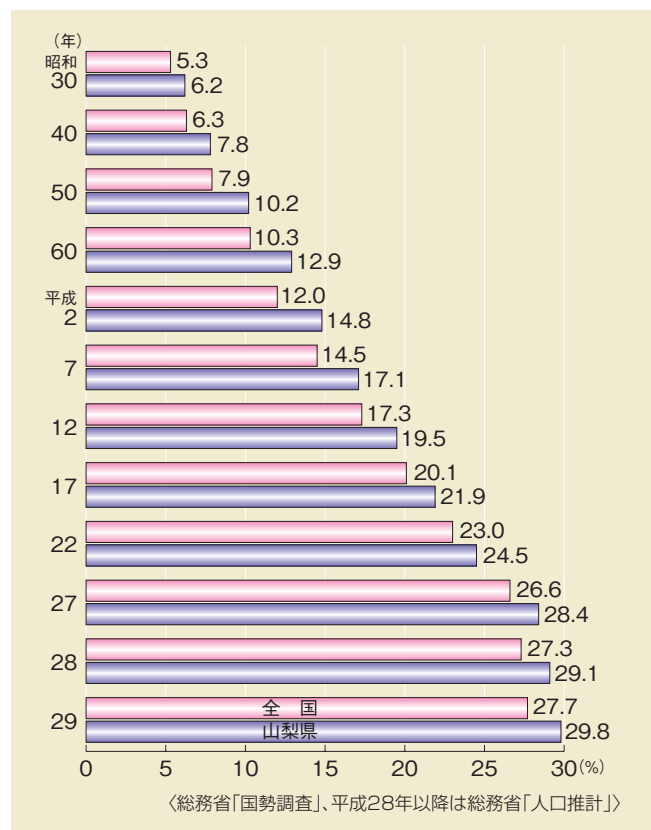
注) 人口増加率は大正9年～平成27年は5年間の数値、平成28～30年は1年間の数値。そのため平成27年と平成28年は接続しない。

〈大正9年～平成27年は総務省「国勢調査」、平成28～30年は「山梨県常住人口調査」〉

年齢別人口の推移 (大正9年～平成29年)



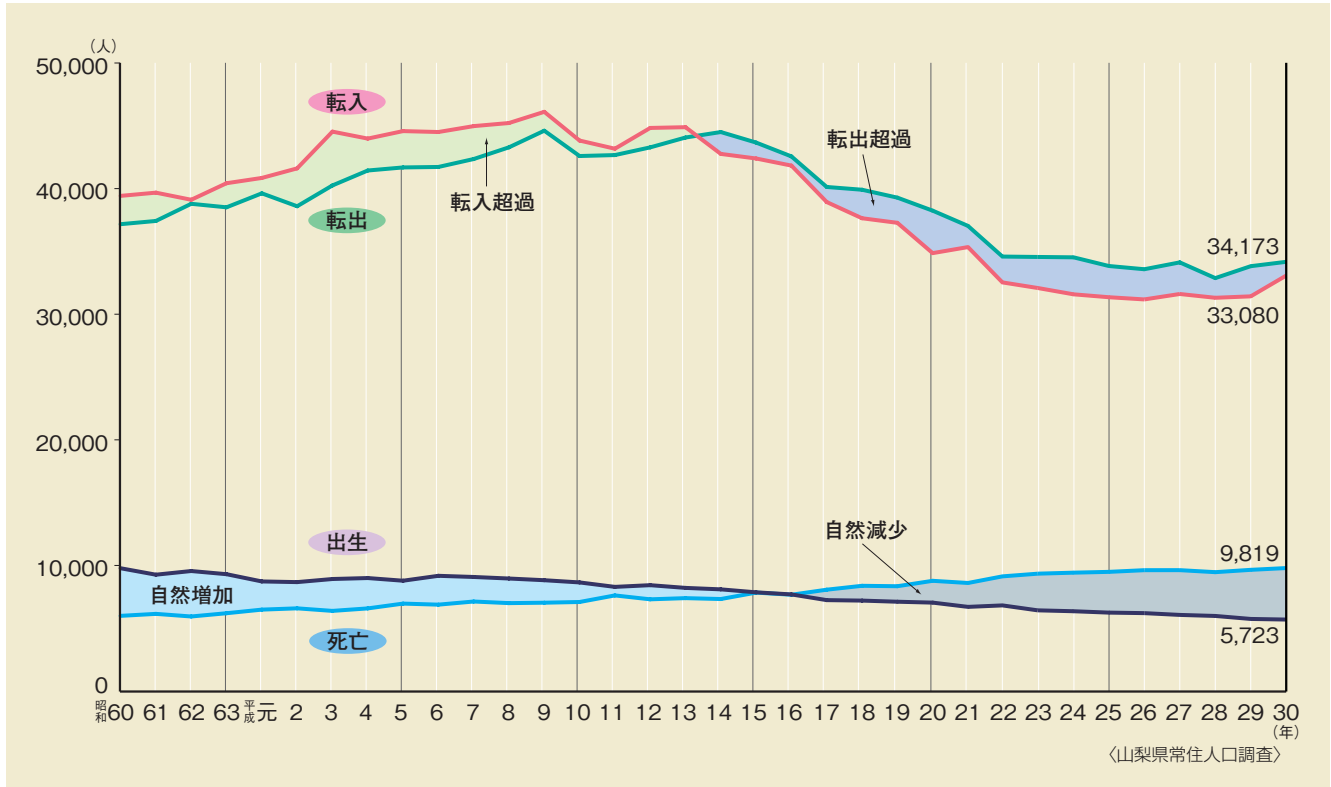
本県と全国の65歳以上人口割合の推移 (昭和30年～平成29年)



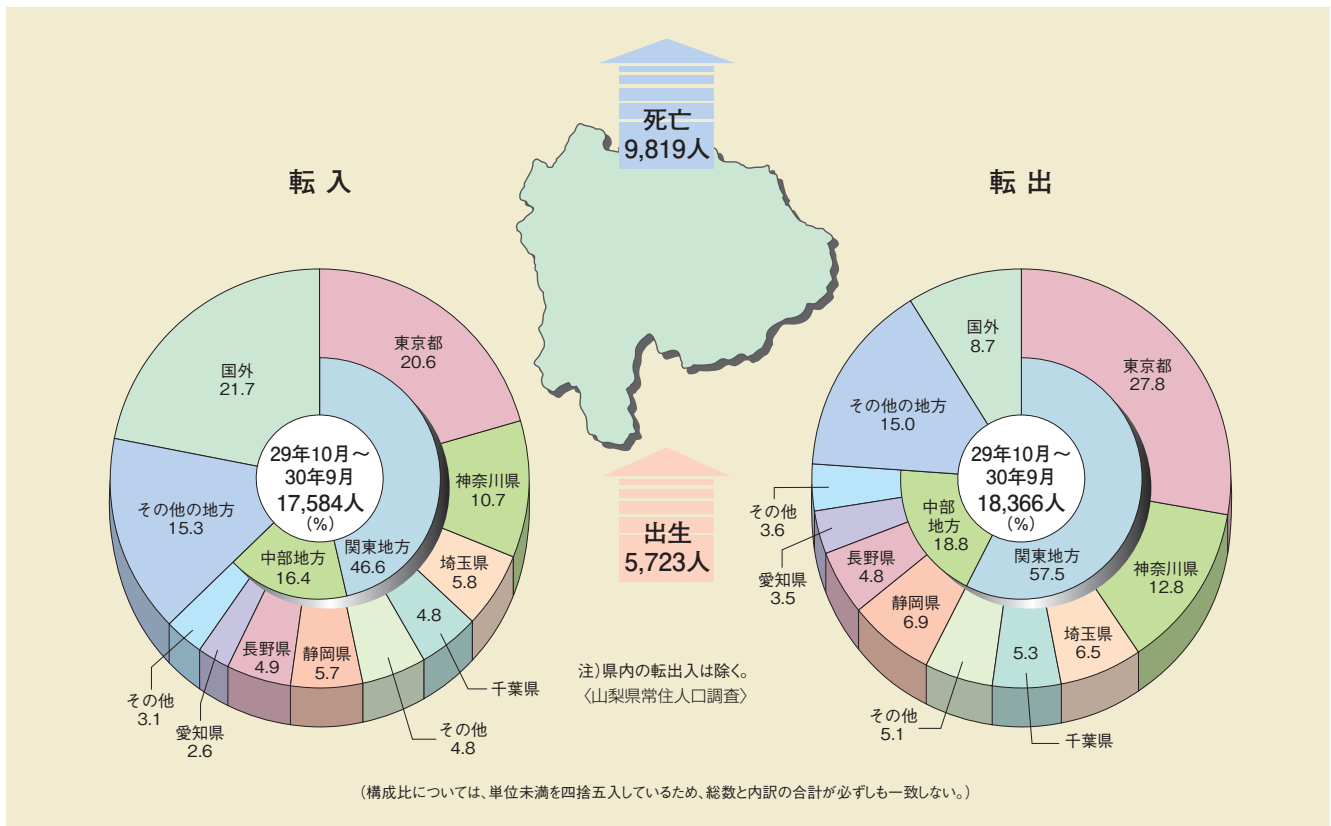
平成30年10月1日現在の人口は、81万8,391人となっています。

平成29年10月1日現在の人口を年齢別にみると、15歳未満人口9.9万人(12.0%)、15歳～64歳人口47.9万人(58.2%)、65歳以上人口24.5万人(29.8%)となっていて、平成7年以降65歳以上人口が15歳未満人口を上回り、平成29年では本県人口の4分の1を超えています。

人口動態の推移 (各年ともに前年10月1日～当年9月30日)

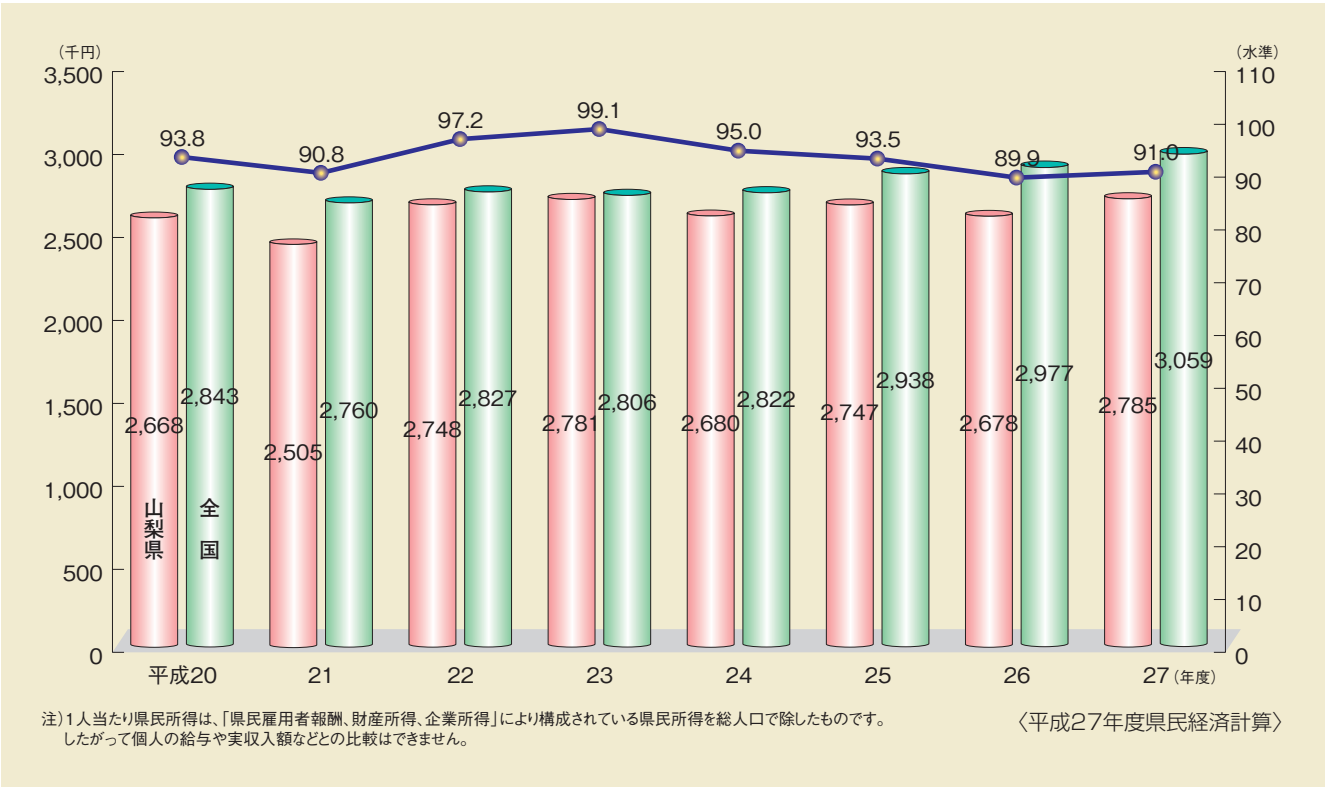


人口動態 (平成29年10月1日～30年9月末)

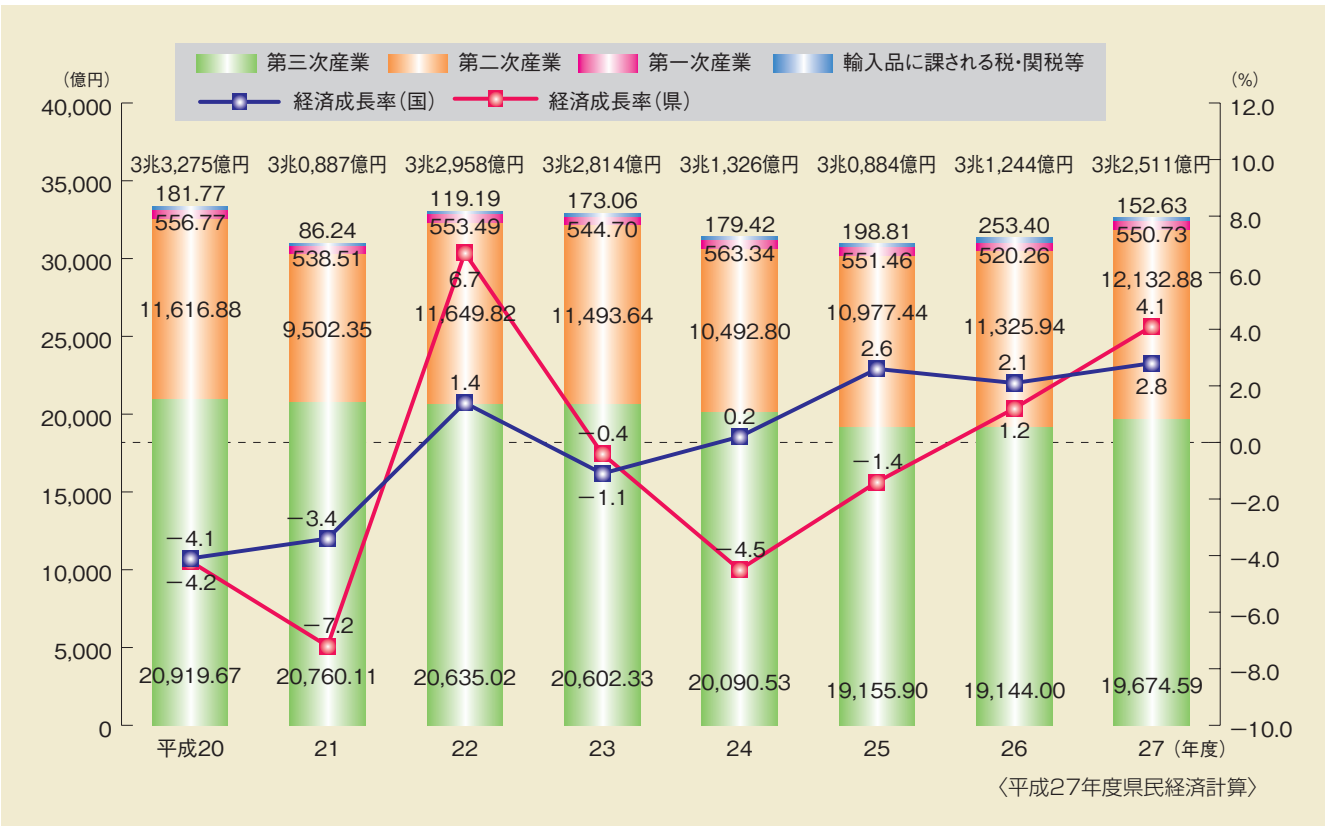


平成29年10月1日から平成30年9月30日までの人口の動きをみると、出生5,723人、死亡9,819人で、4,096人の自然減となっています。また、転入者33,080人、転出者34,173人で、1,093人の社会減となっています。このうち、他道府県及び国外からの転入転出者数をみると、転入者17,584人、転出者18,366人となっており、東京都、神奈川県の転入、転出が多くなっています。

1人当たり県(国)民所得と国との水準の推移



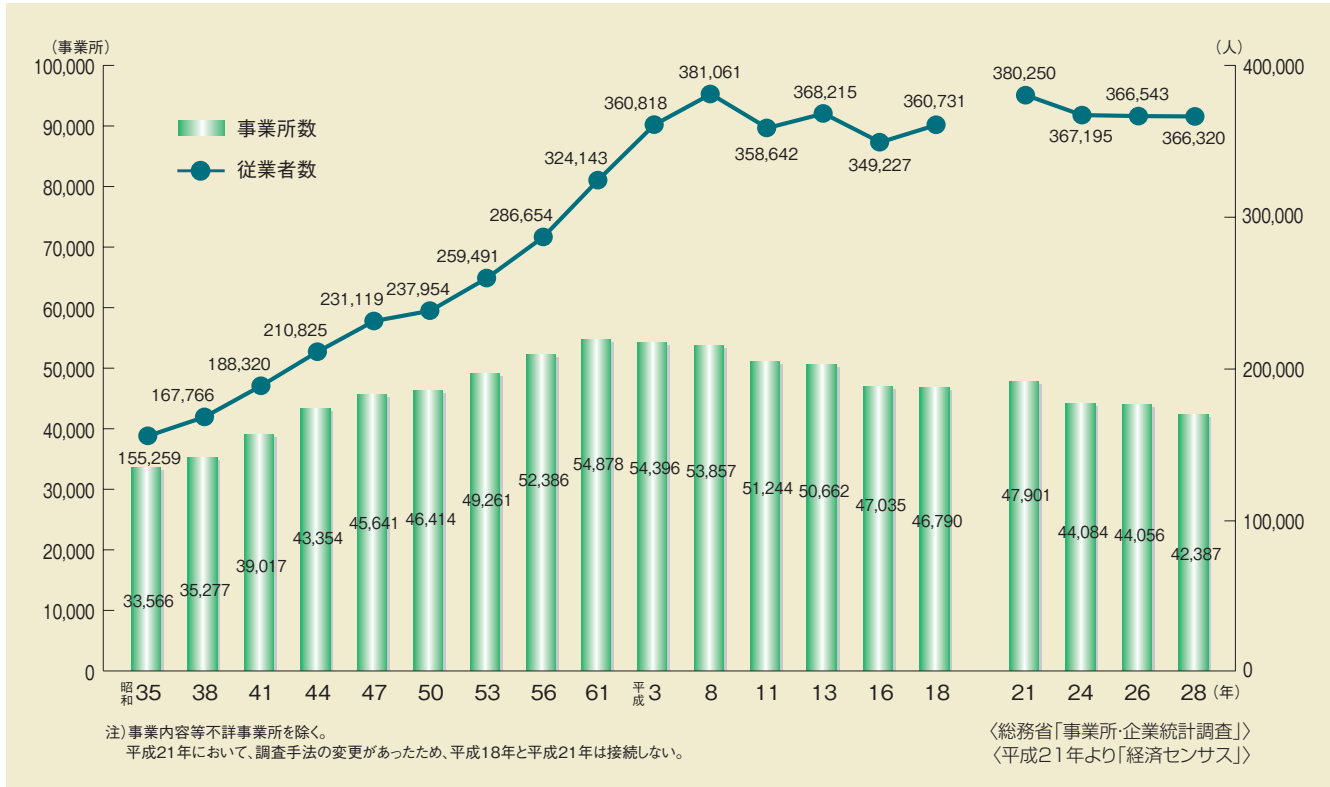
県内総生産の推移及び経済成長率の推移(名目)



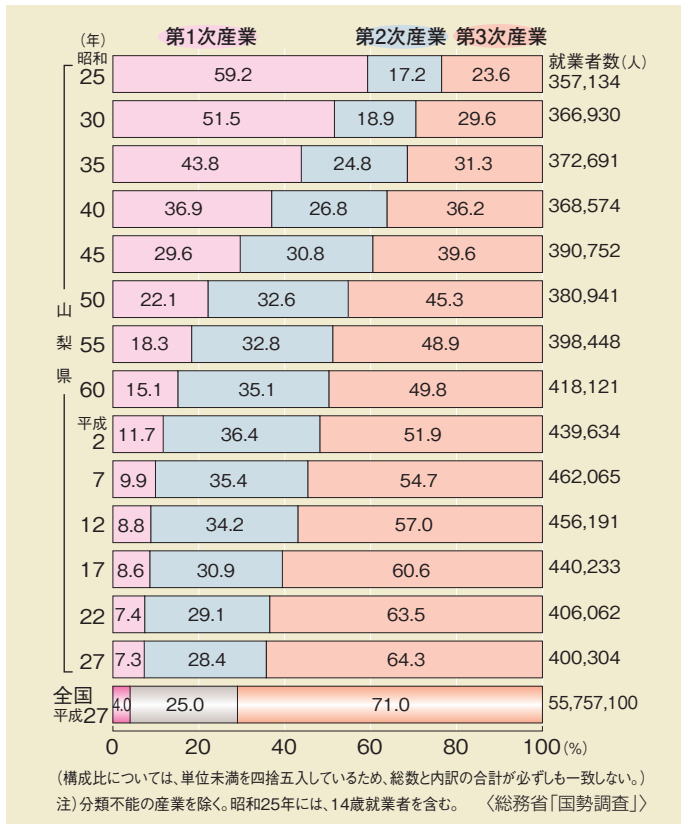
平成27年度の県内総生産は、名目で3兆2,511億円で、前年度に比べて4.1%(1,267億円)の増加となりました。

1人当たり県民所得は278.5万円で、前年度に比べ10.7万円増加しました。また、1人当たり国民所得305.9万円を100とした水準は91.0となり、前年度に比べて1.1ポイント上昇しました。

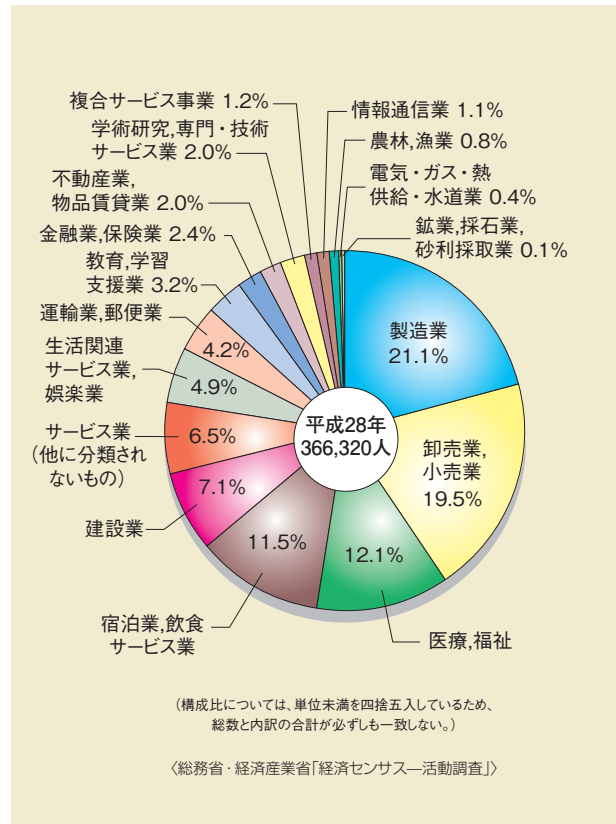
民営事業所数及び従業者数の推移



産業別(3部門)就業者数(構成比)の推移



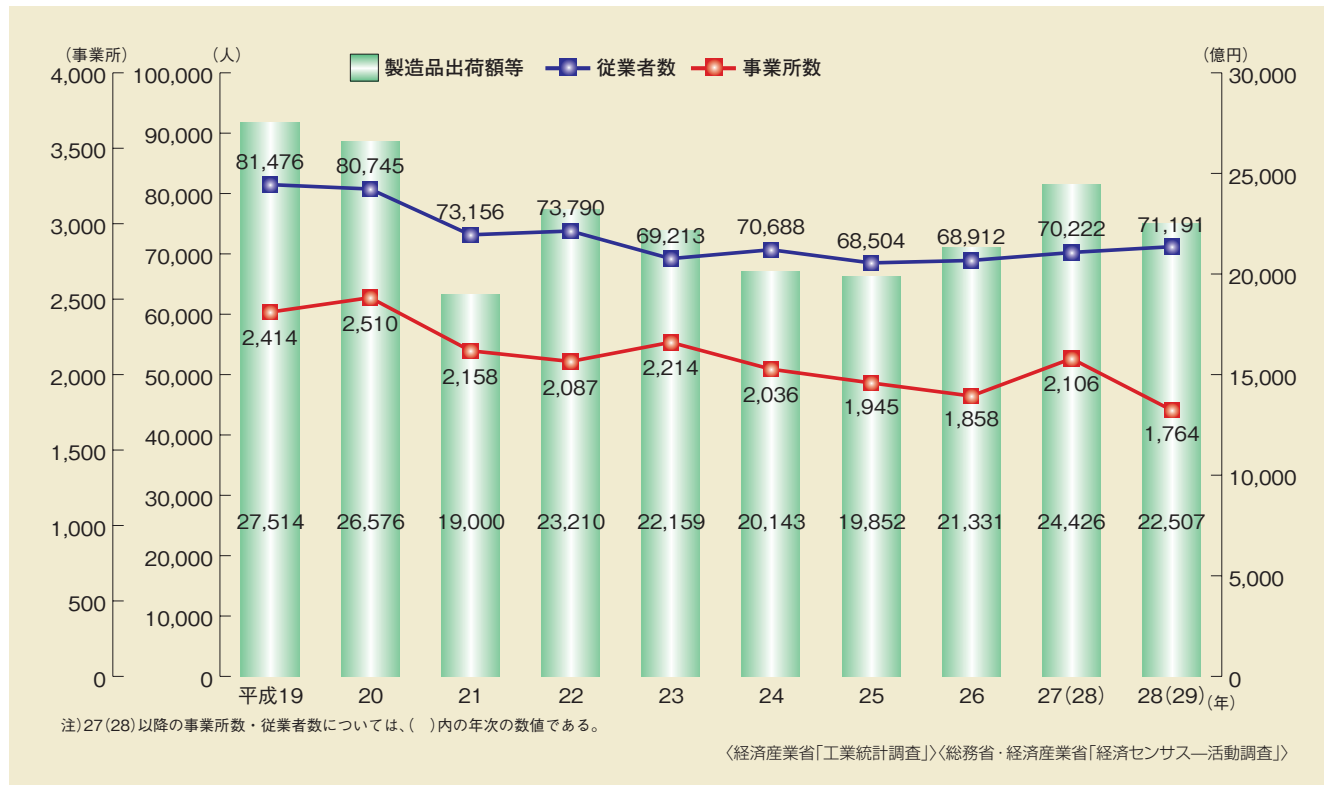
産業別従業者数構成比(平成28年)



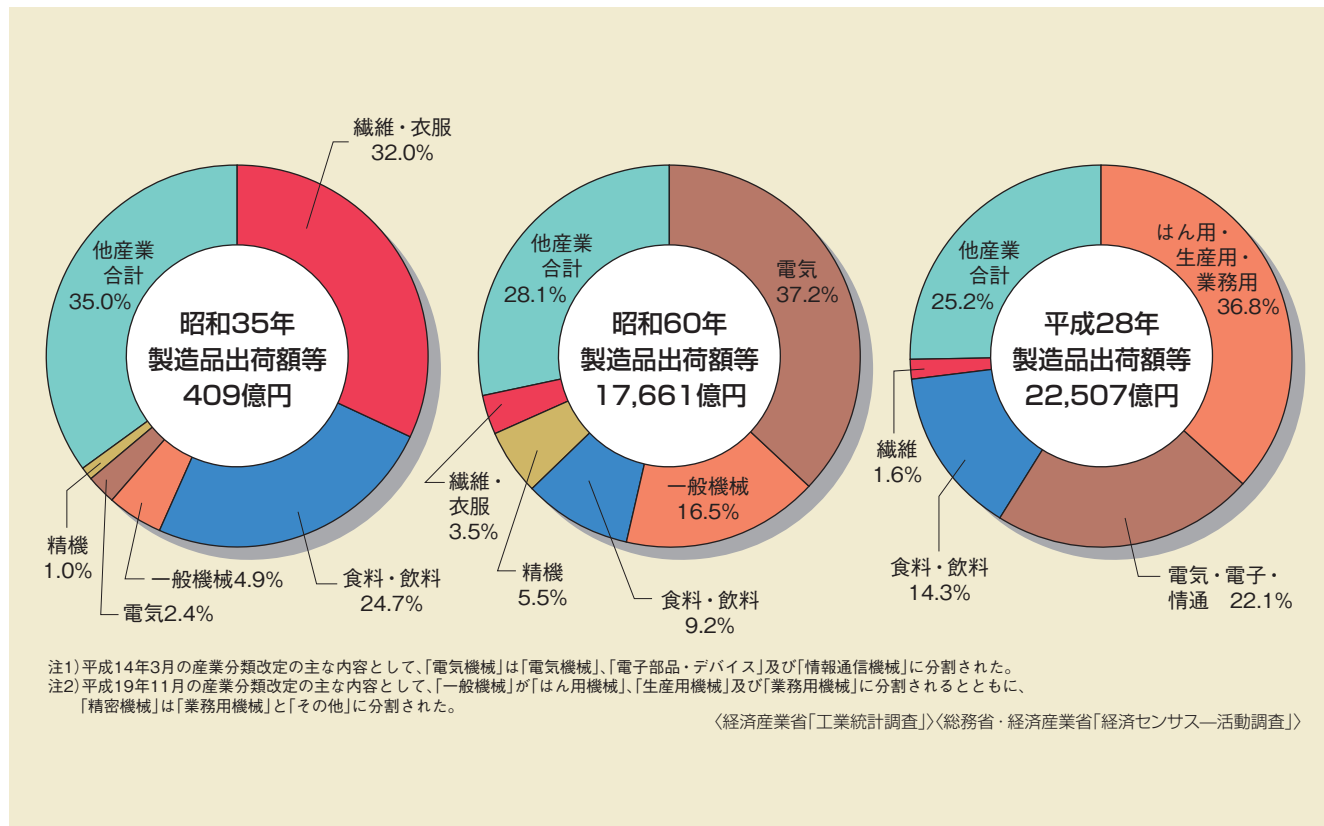
平成28年の事業所数は42,387事業所で、昭和61年までは増加してきましたが、その後減少しています。また、産業別従業者数構成比をみると、製造業21.1%、卸売業、小売業19.5%、医療、福祉12.1%の順となっています。本県の産業別就業者数をみると、昭和25年には、第1次産業が全体の59.2%を占めていましたが、平成27年には、第1次産業は7.3%にまで減少し、この間に第3次産業が23.6%から64.3%へと増加しています。

工業

製造業における事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移(従業者4人以上の事業所)



産業別製造品出荷額等の構成の変化(従業者4人以上の事業所)

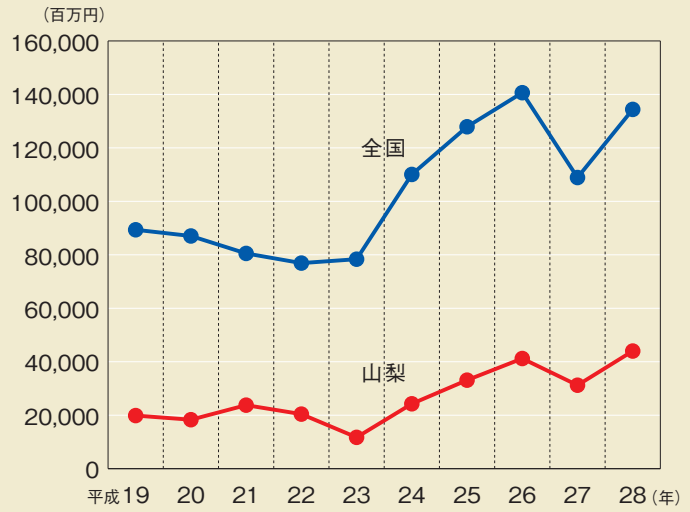
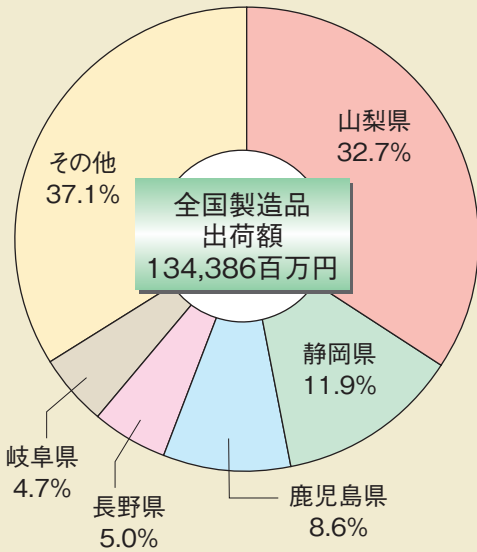


平成28年の従業者4人以上の製造業の事業所数は1,764事業所、製造品出荷額等は2兆2,507億円で、平成27年と比べ減少しました。従業者数は71,191人で、平成27年と比べ増加しました。

産業分類の改定により単純な比較はできませんが、産業分類別の製造品出荷額等をみると、昭和35年は繊維・衣服が全体の約3分の1を占めていました。平成28年ははん用・生産用・業務用と電気・電子・情通の合計が全体の約6割を占めています。

製造品出荷額全国1位の品目と推移(従業者4人以上の事業所) (平成28年)

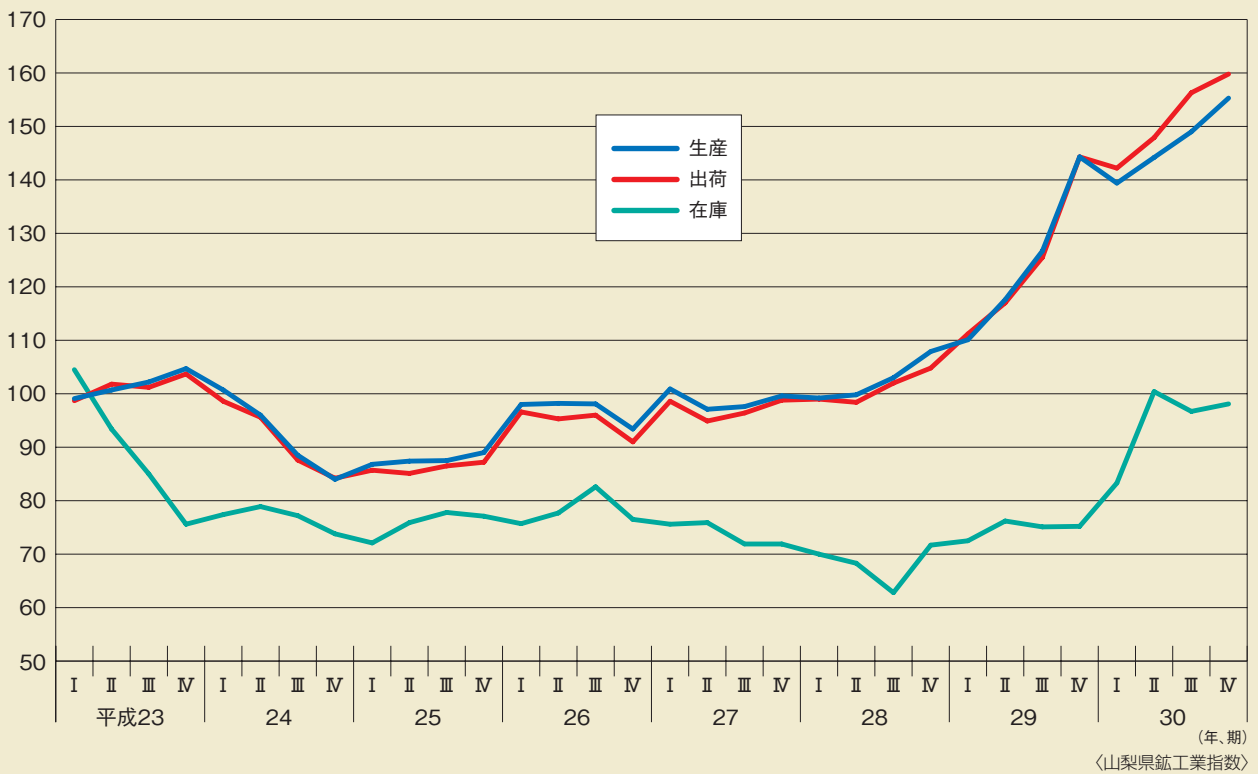
ミネラルウォーター



注)「その他」には、数値非公表の県を含む。

〈経済産業省「工業統計調査」〉〈総務省・経済産業省「経済センサス—活動調査」〉

鉱工業指数の推移 (平成22年=100 季節調整済)

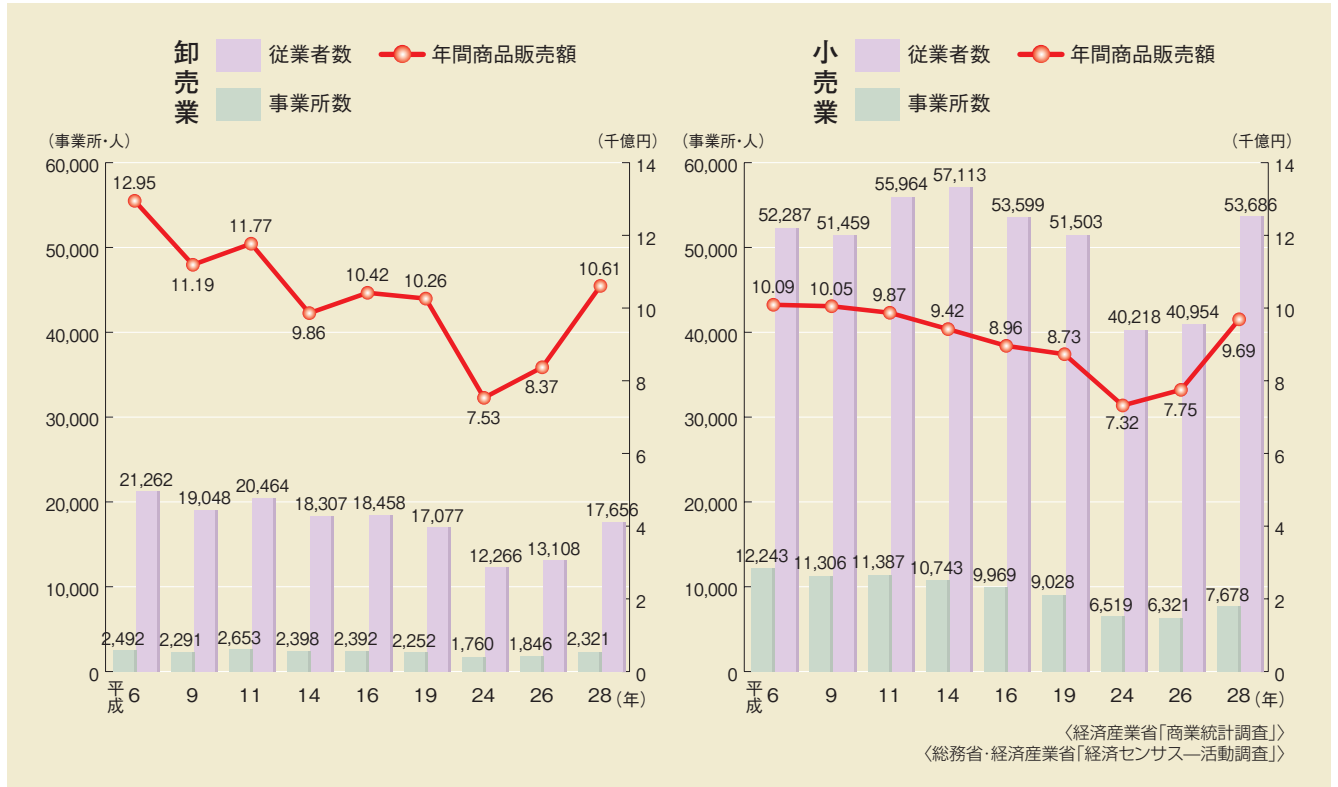


〈山梨県鉱工業指数〉

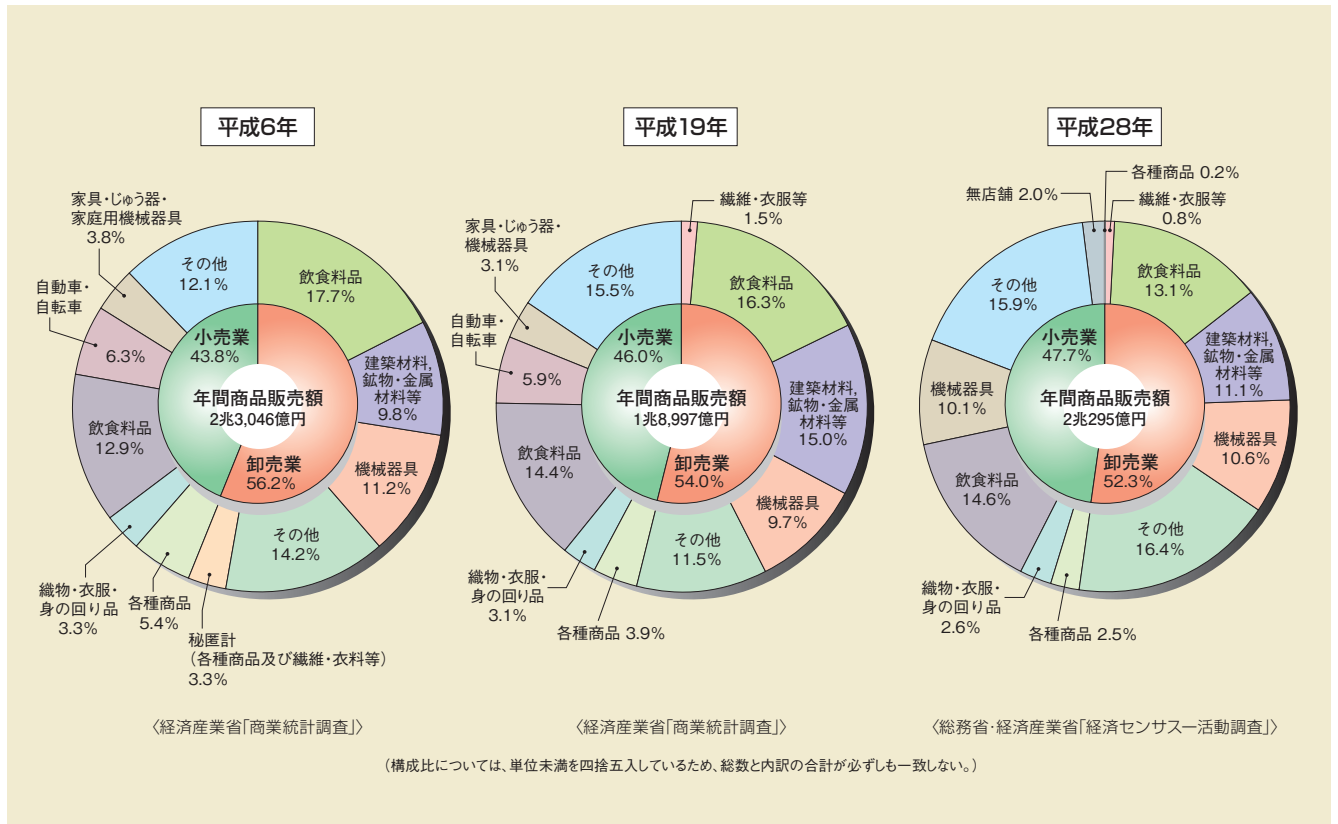
平成28年の品目別製造品出荷額をみると、本県は数値が公表されている都道府県の中で、ミネラルウォーターの品目で日本一となっており、全国の出荷額の約3割を占めています。

鉱工業指数の推移をみると、生産及び出荷は、平成24年I期頃から低下しましたが、平成25年I期頃から緩やかに上昇し、平成28年III期頃から上昇傾向にあります。

商業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移

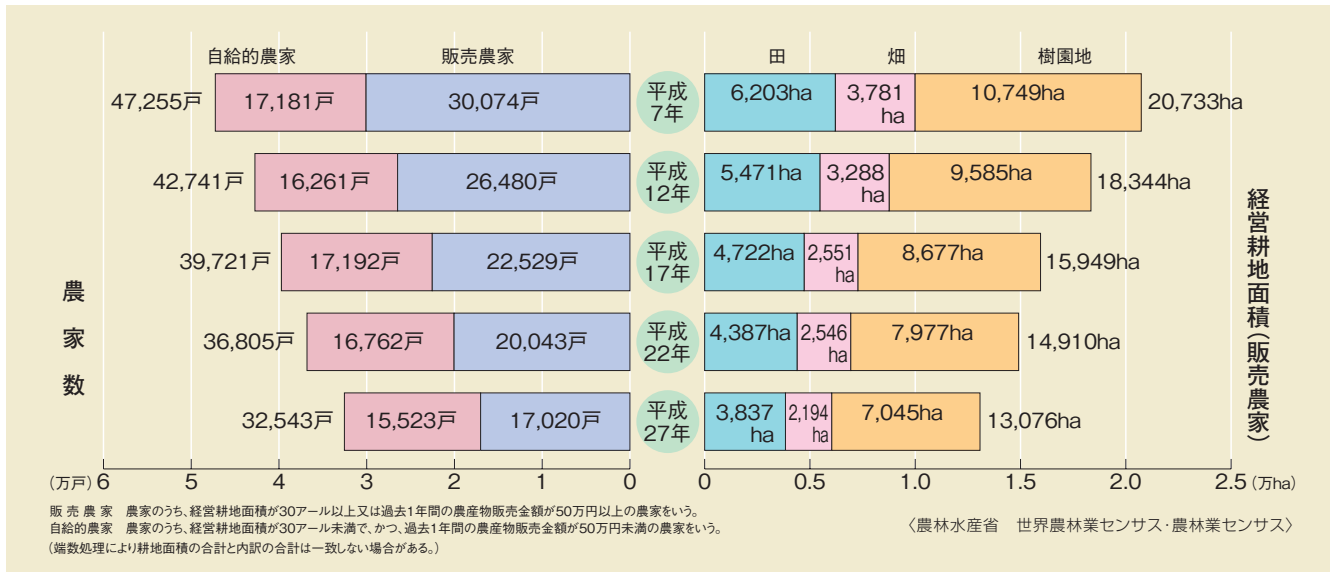


業種別年間商品販売額構成比の推移

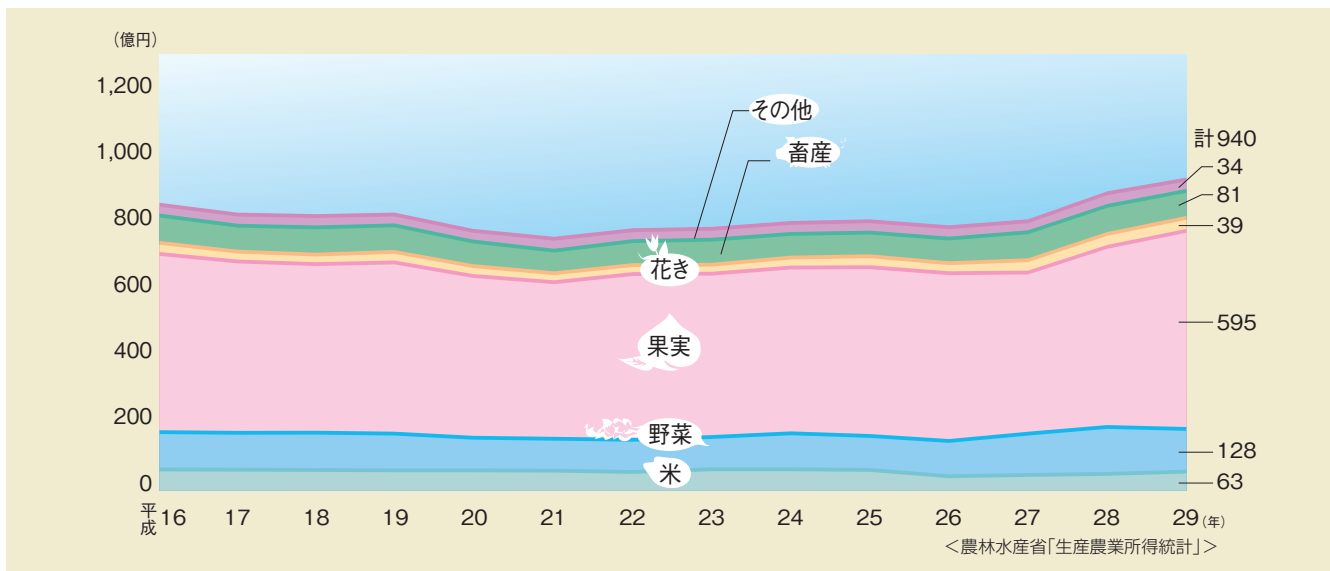


平成28年の卸・小売業数は9,999事業所、従業者数は71,342人、年間商品販売額は2兆295億円となっています。業種別年間商品販売額の構成比の推移をみると、卸売業の割合が減少しています。平成28年では新たな業態である無店舗小売業が2.0%となっています。

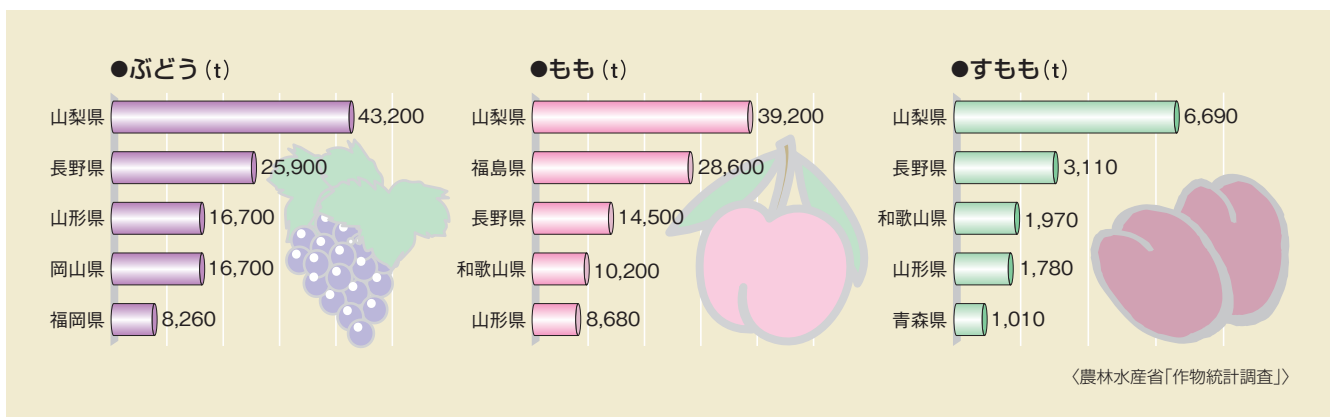
農家数及び経営耕地面積(販売農家)の推移



農業産出額の推移



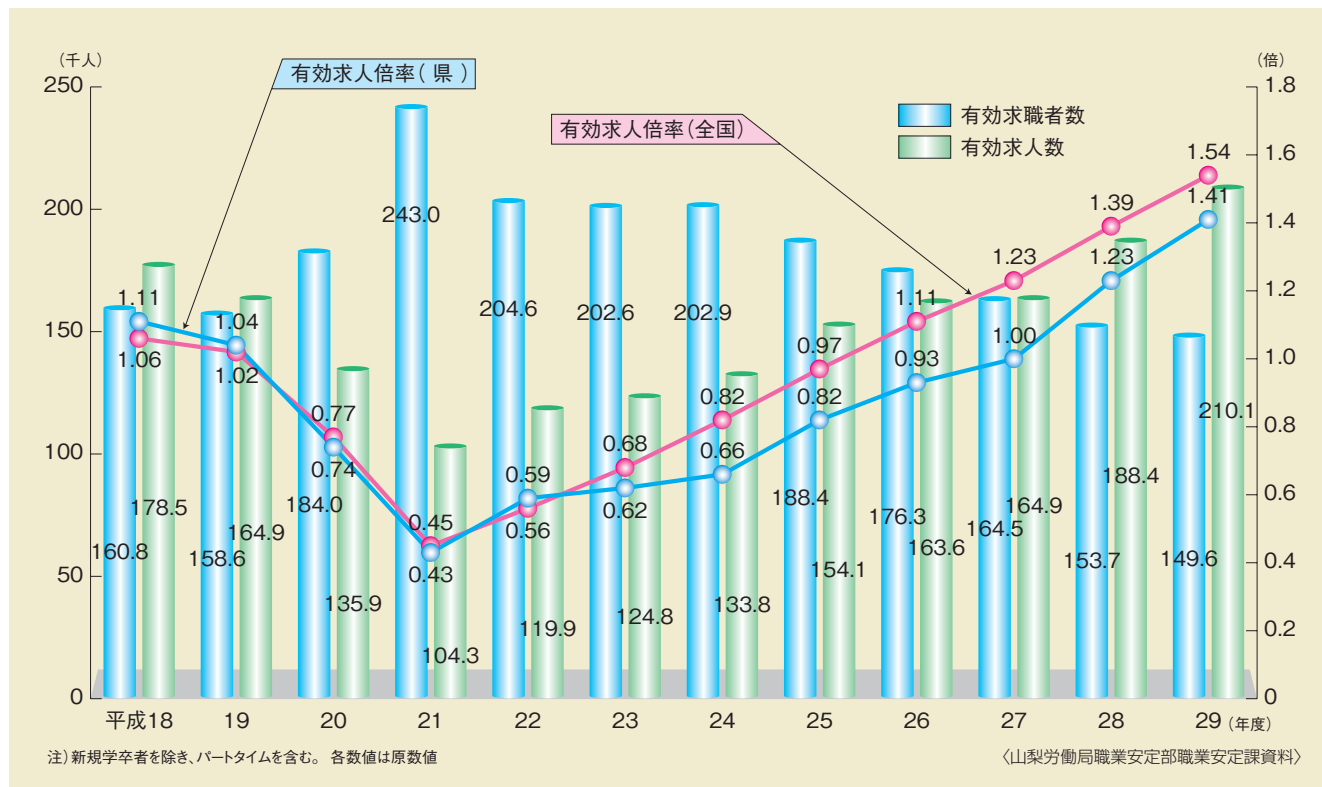
ぶどう・もも・すももの収穫量(平成29年)



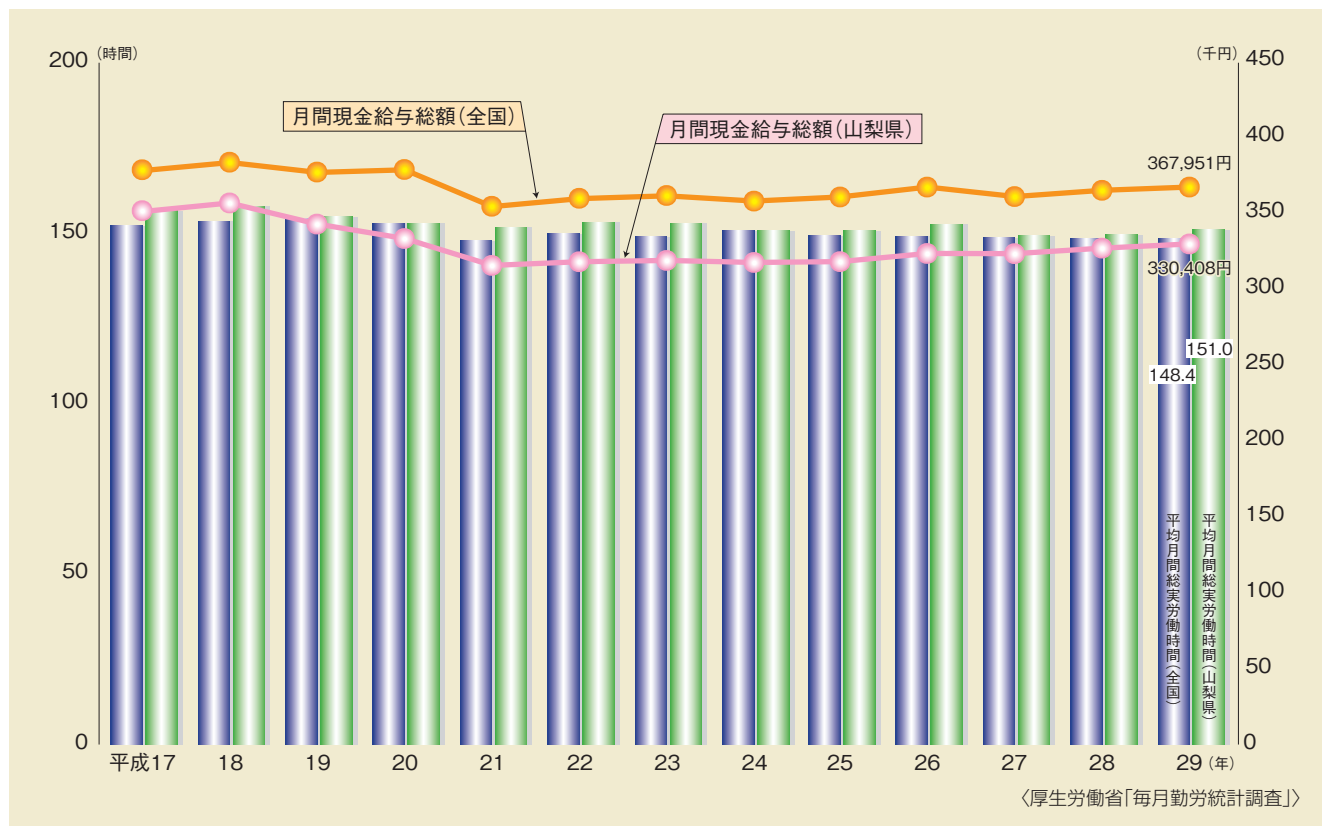
平成27年の本県の農家数及び経営耕地面積(販売農家)は、それぞれ32,543戸、13,076haで、平成22年と比べ農家数で4,262戸、経営耕地面積で1,834ha減少しています。

平成29年の農業産出額の割合は、果実が全体の63.3%を占め、次いで野菜13.6%、畜産8.6%、米6.7%、花き4.2%の順となっています。また、果実のうち「ぶどう」「もも」「すもも」の収穫量は、日本一となっています。

有効求人倍率・求職者数・求人数の推移



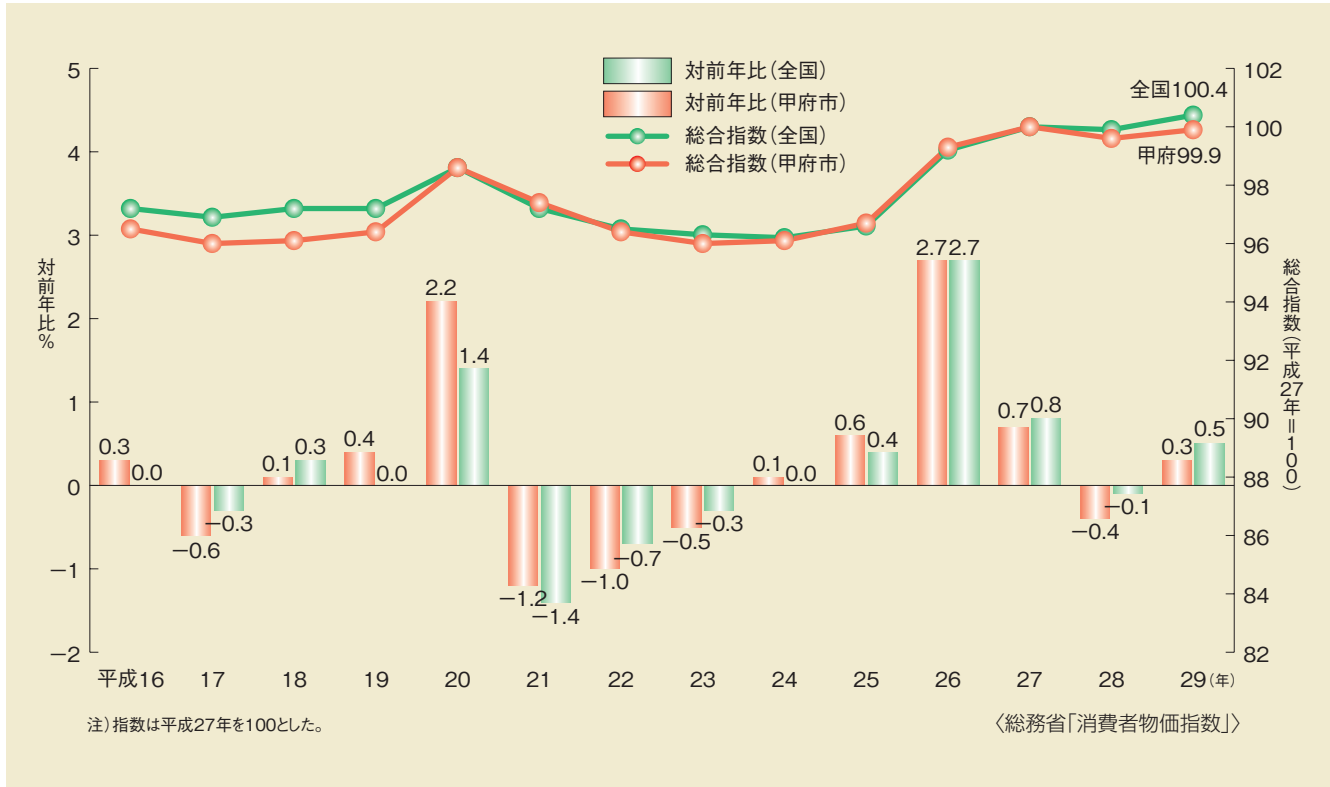
労働者1人当たり平均月間総実労働時間と現金給与総額の推移(30人以上の事業所)



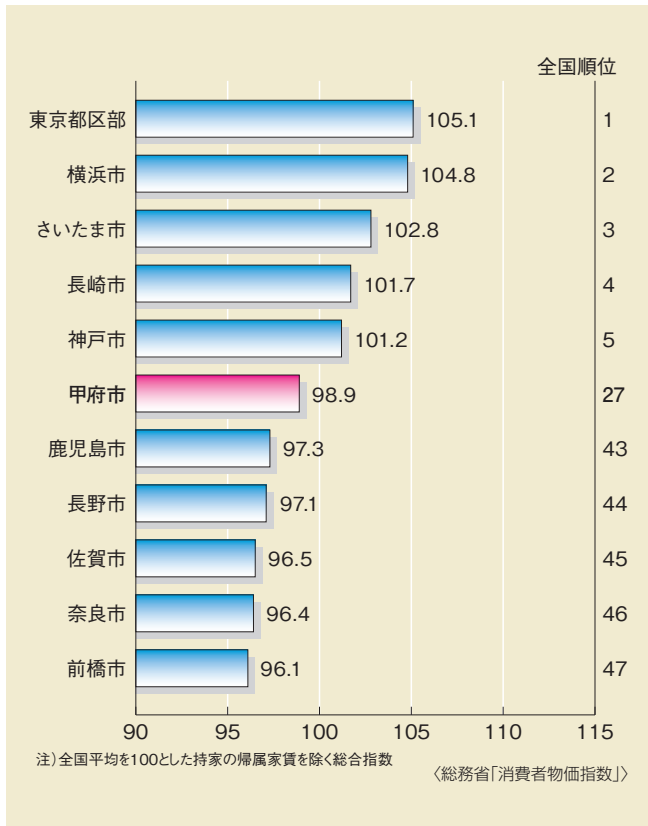
平成29年度の有効求職者数は、14万9,551人で、前年に比べて4,125人(2.7%)減少し、有効求人数は、21万140人で、前年に比べて21,733人(11.5%)増加し、有効求人倍率は1.41倍で、前年に比べて0.18ポイントの増加となりました。

平成29年の労働時間をみると、労働者1人当たりの平均月間総実労働時間は151.0時間で、全国平均の148.4時間を2.6時間上回っています。一方、月間現金給与総額は、330,408円で全国平均の367,951円を37,543円下回っています。

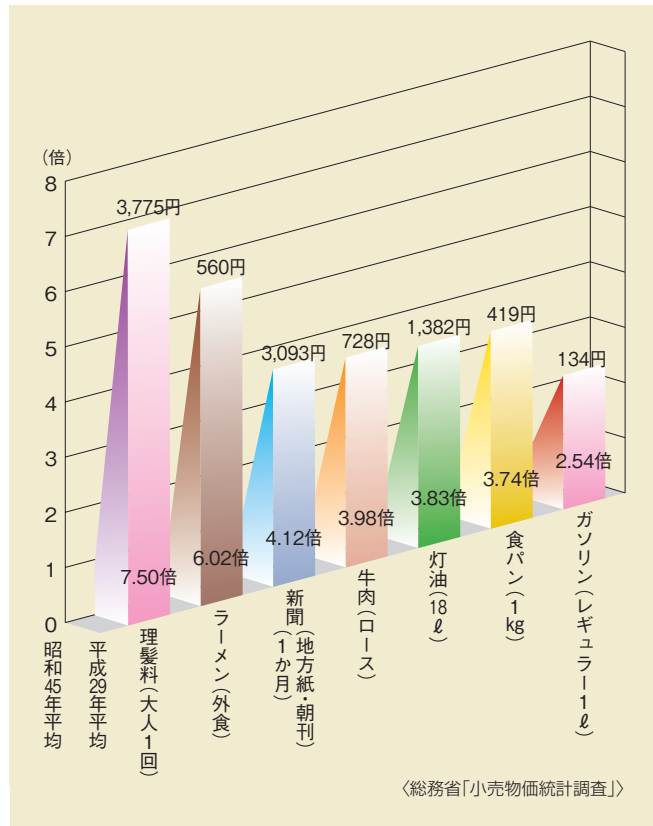
消費者物価指数の推移 (各年平均)



消費者物価地域差指数 (平成29年平均)



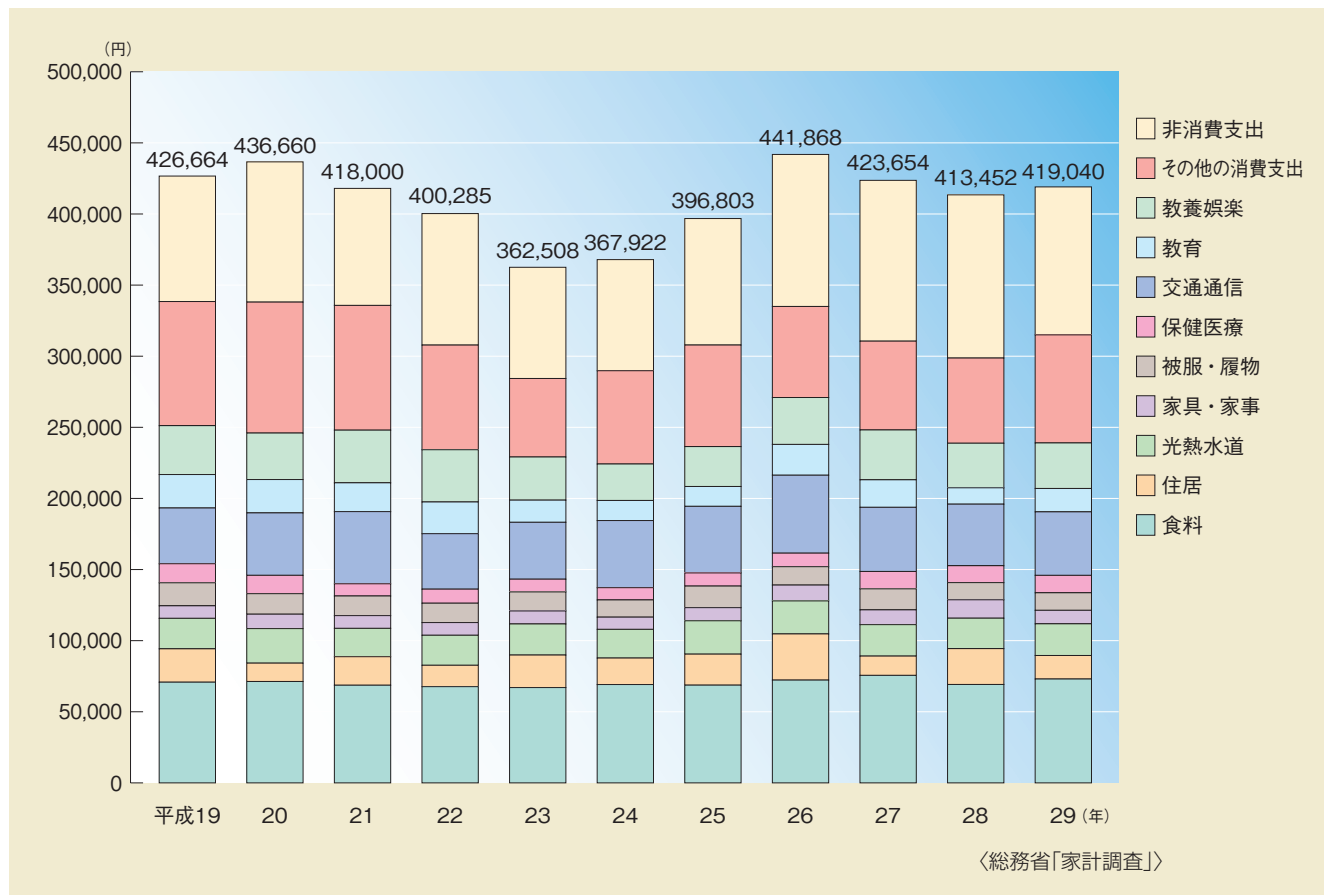
小売物価の比較(甲府市)



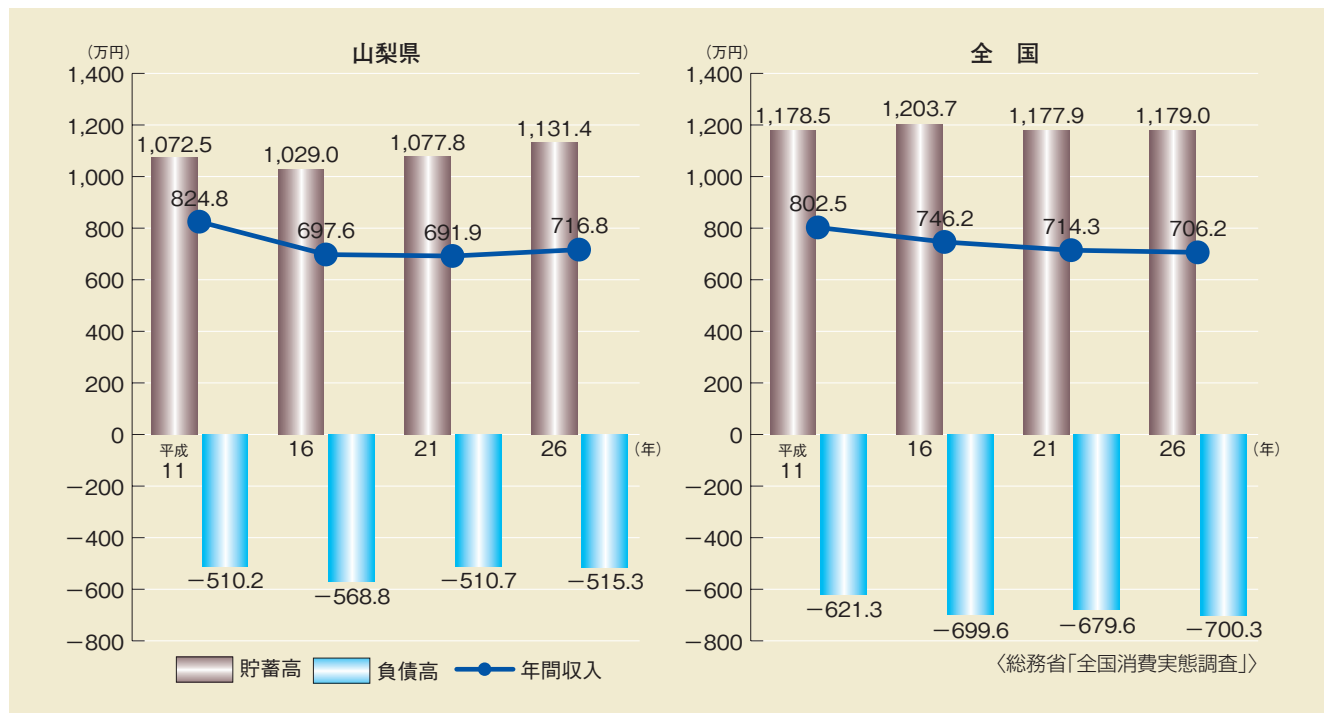
平成29年平均の甲府市の物価全体の変動を示す総合指数は、99.9(平成27年=100)となりました。物価水準の地域間の格差を示す地域差指数は98.9(全国平均=100)となり、物価水準の最も高い東京都区部に比べ6.2ポイント低くなっています。

平成29年平均の小売価格を昭和45年平均と比較すると、理髪料は7.50倍、ラーメン(外食)は6.02倍、新聞(地方紙・朝刊)(1か月)は4.12倍などとなっています。

勤労者世帯1世帯当たり1か月間の支出(甲府市)



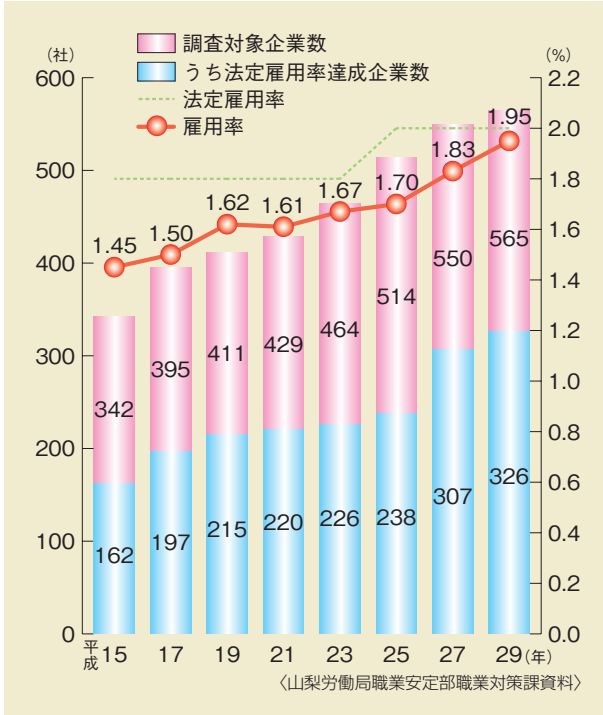
勤労者世帯1世帯当たり年間収入・貯蓄・負債残高の推移(各年11月末日現在)



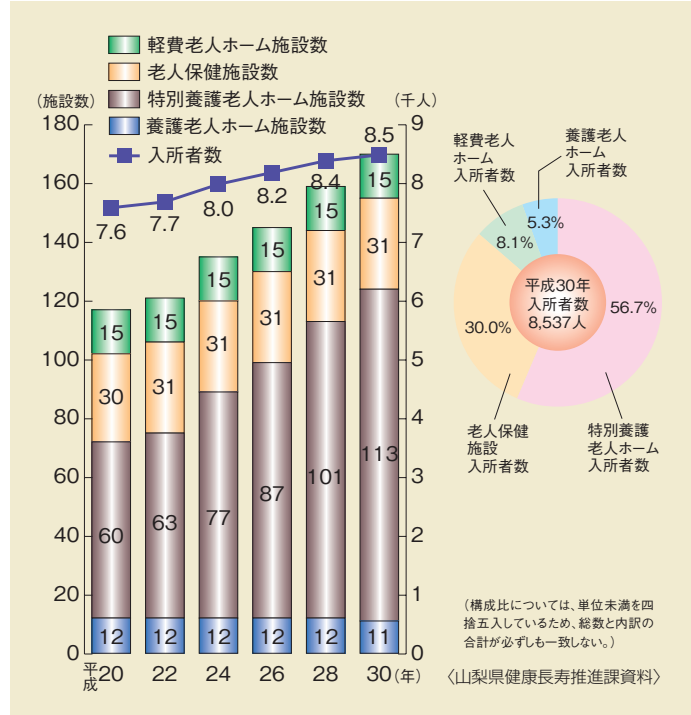
平成29年の甲府市における勤労者世帯1世帯当たり1か月間の実支出は419,040円で、所得税、住民税、年金掛金、健康保険料などの非消費支出が24.8% (104,033円)、消費支出は全体の75.2% (315,007円)となっています。

平成26年における山梨県の勤労者世帯1世帯当たりの貯蓄現在高は1,131万4千円、負債現在高は515万3千円となっています。

障害者雇用率等の推移(民間企業) (各年6月1日現在)



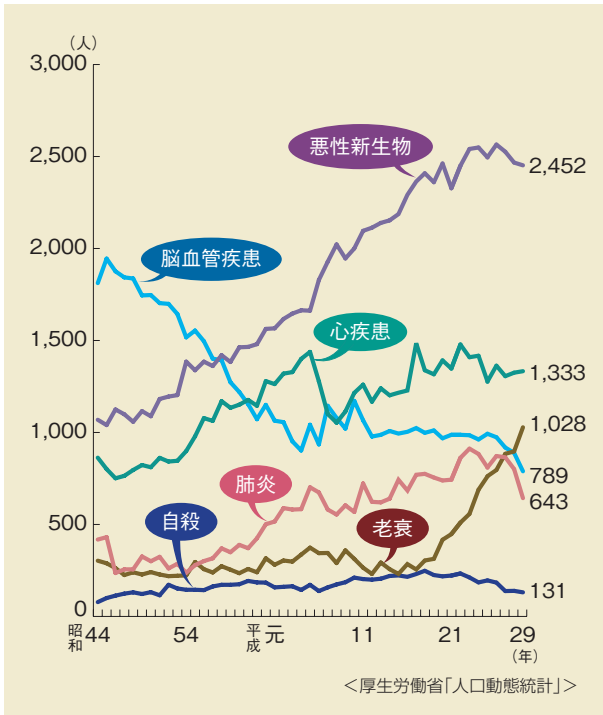
老人関係施設入所者数の推移 (各年8月1日現在)



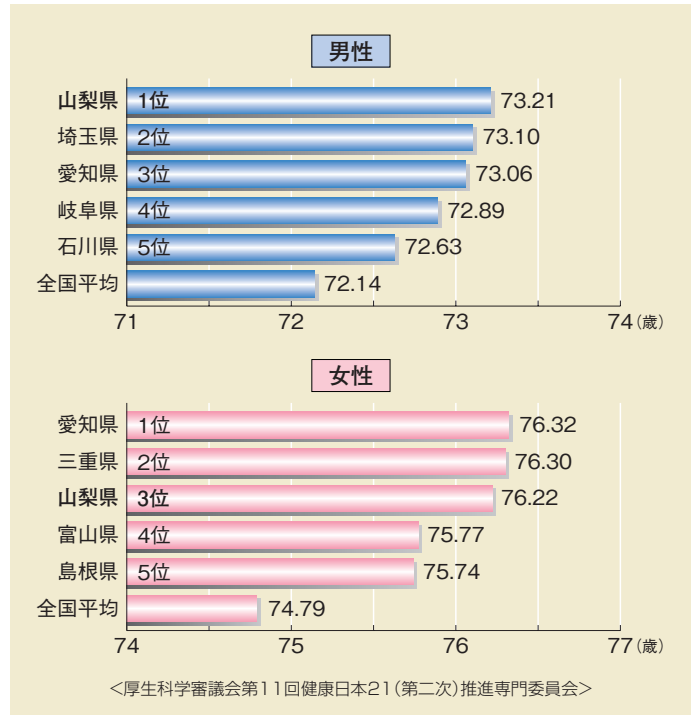
本県の障害者雇用率は平成29年6月1日現在1.95%であり、法定雇用率の2.0%を0.05ポイント下回っています。また、法定雇用率を達成している企業は326社で、達成率は57.7%となっています。

平成30年8月1日現在の老人関係施設の入所者数は8,537人で、2年前より142人(1.7%)増加しています。また、施設数は170施設で、平成20年と比べると53施設(45.3%)増加しています。

主な死因別死亡者数の推移



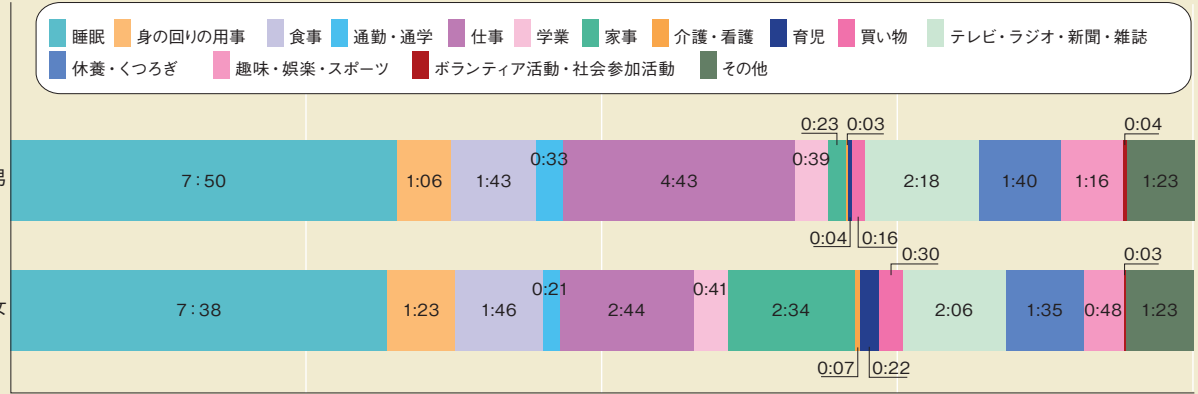
健康寿命(平成28年)



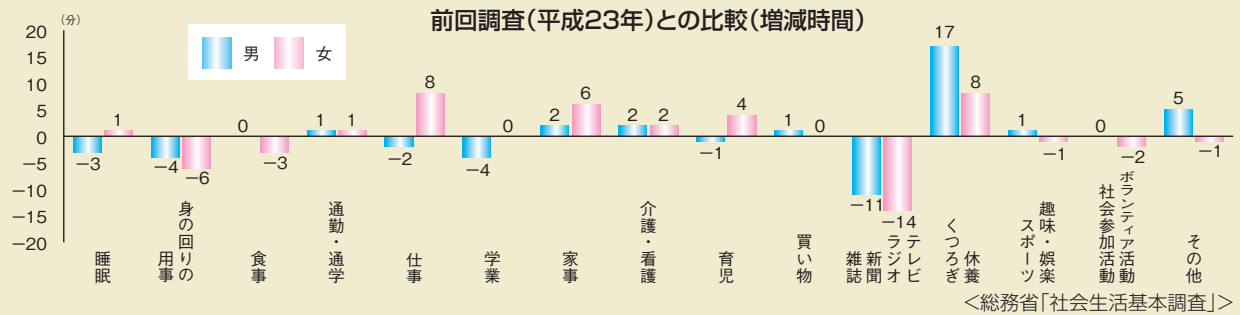
平成29年の本県の死亡者を主な死因別にみると、悪性新生物、心疾患、老衰の順となっています。

本県の健康寿命は、男性73.21歳で全国平均72.14歳を上回り全国第1位、女性76.22歳で全国平均74.79歳を上回り全国第3位です。(健康寿命とは、国の健康増進計画である健康日本21(第二次)において、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されています。)

生活行動の種類別平均時間 (平成28年)

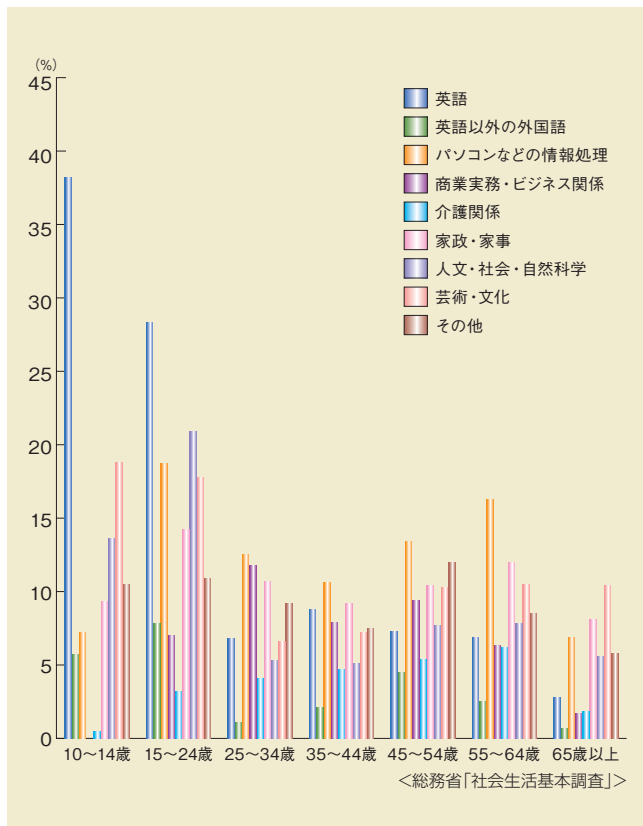


(時:分)



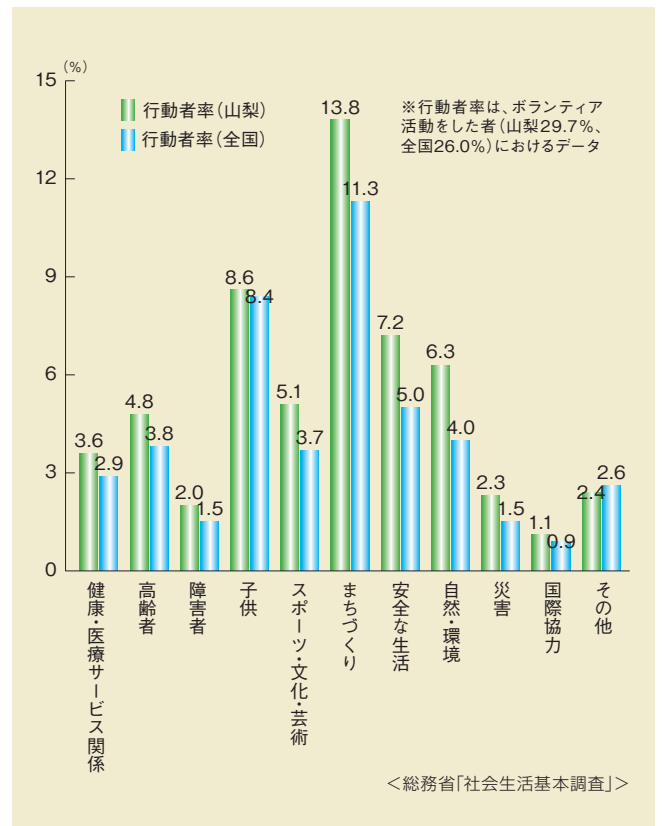
<総務省「社会生活基本調査」>

学習・自己啓発・訓練の行動者率 (平成28年)



<総務省「社会生活基本調査」>

ボランティア活動 (平成28年)

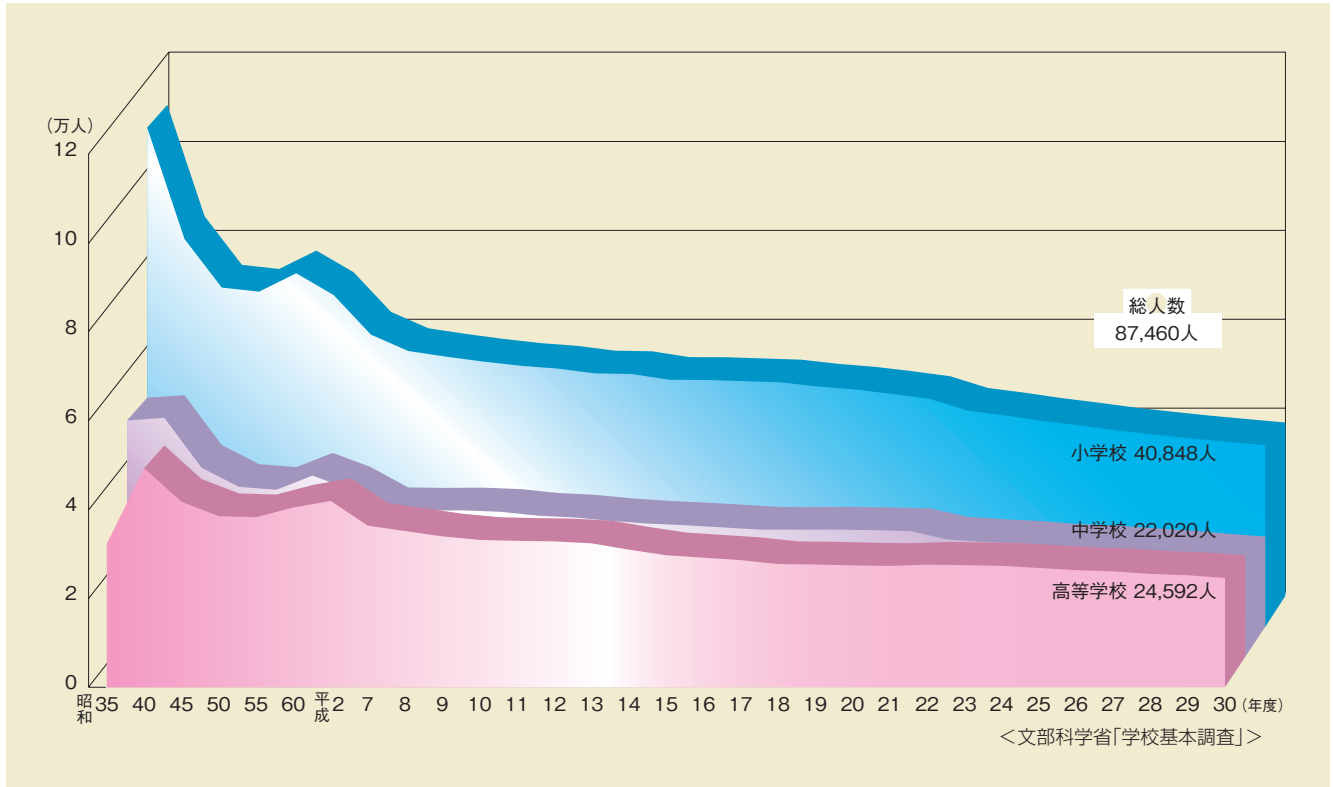


<総務省「社会生活基本調査」>

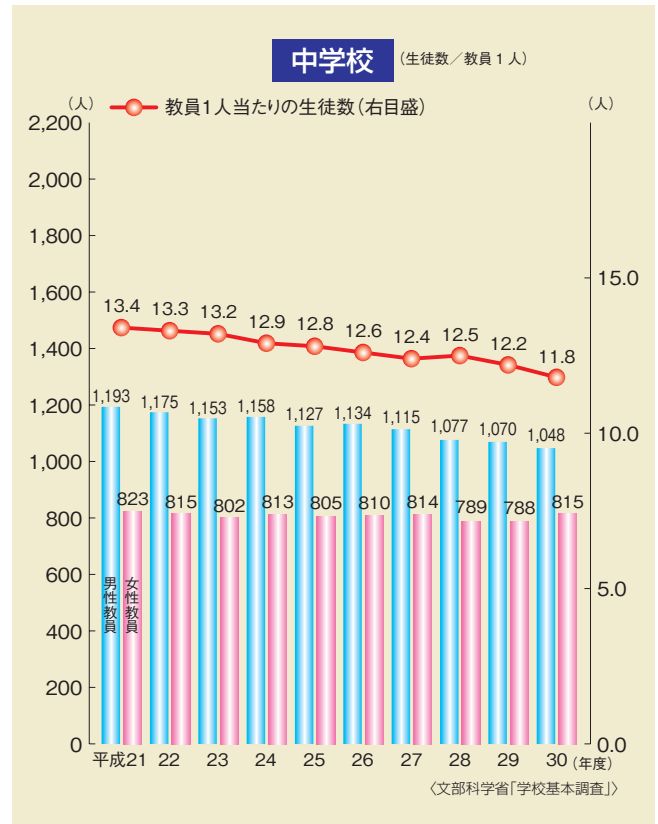
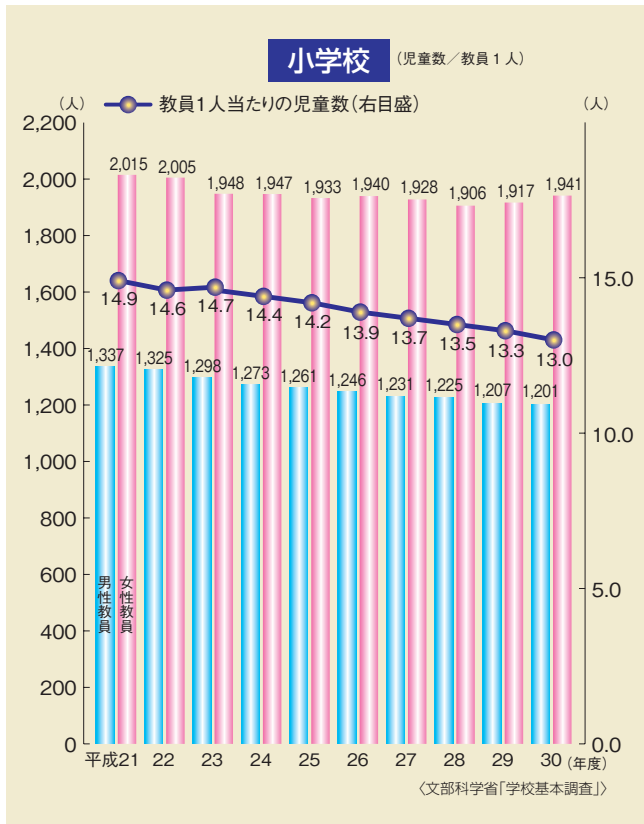
県内に住む10歳以上の男女の生活行動時間をみると、男性は仕事に費やす時間が、女性は家事に費やす時間が多くなっていますが、前回調査時(平成23年)と比べると、男性の仕事に費やす時間は2分短く、女性の家事に費やす時間は6分長くなっています。

学習・自己啓発・訓練の行動者率を年齢階級別でみると、全ての年齢階級で前回(平成23年)調査以上の率となっています。ボランティア活動の行動者率は29.7%となっており、その他を除く全ての種類で全国を上回っています。

児童・生徒数の推移 (各年5月1日現在)

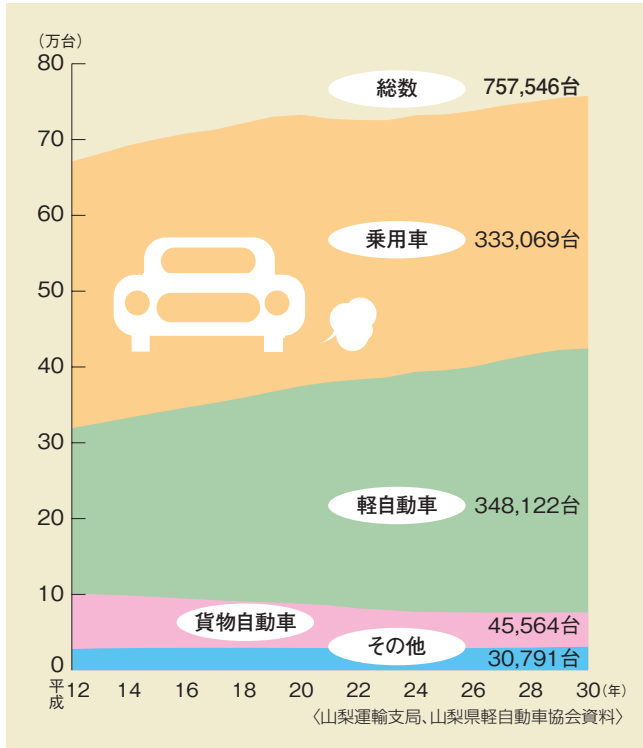


教員数と教員1人当たりの児童・生徒数の推移

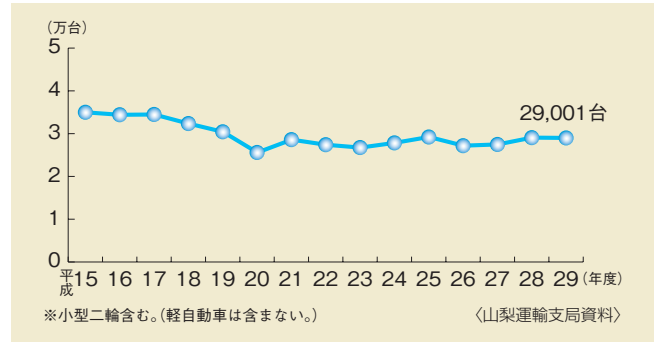


平成30年5月1日現在の児童・生徒数は、小学生40,848人、中学生22,020人、高校生24,592人となっており、児童・生徒数は、前年度に比べて減少しています。また、教員1人当たりの児童・生徒数は、小学校で13.0人、中学校で11.8人となっています。

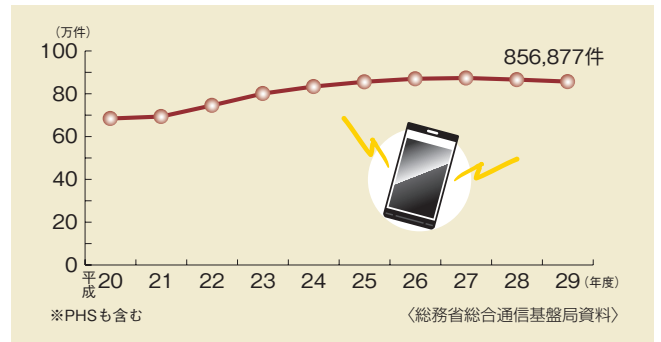
自動車保有台数の推移 (各年3月末日現在)



自動車新規登録台数の推移



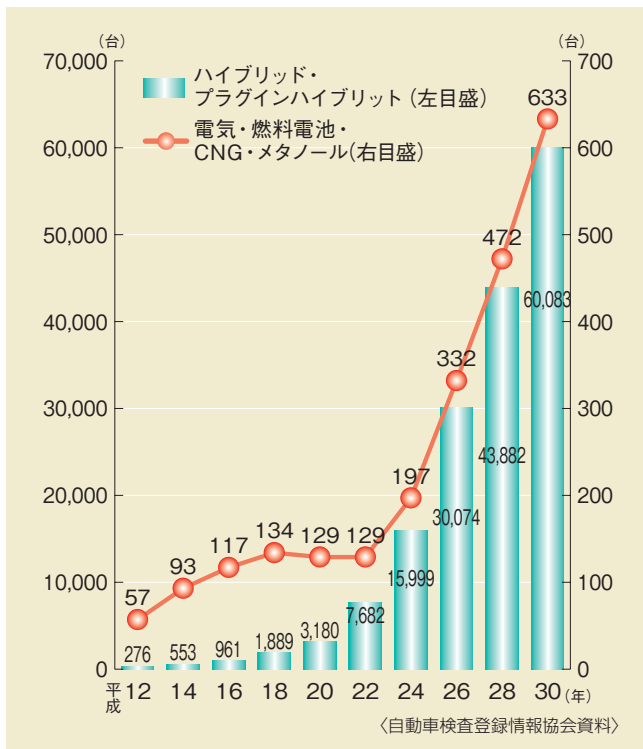
携帯電話契約数の推移



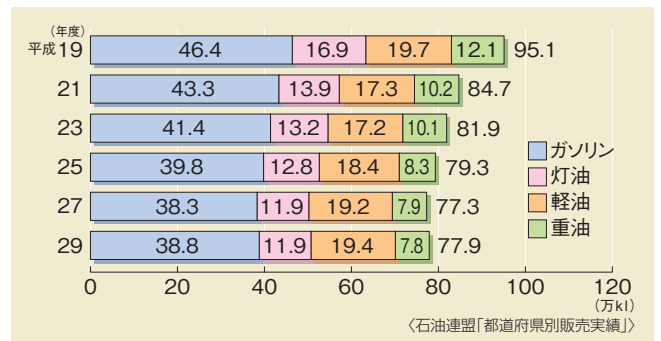
平成30年3月31日現在の本県の自動車保有台数は、757,546台で、2年前に比べて4,905台増加しています。自動車新規登録台数は、29,001台で前年に比べ70台減少しています。

平成30年3月31日現在の携帯電話・PHS契約数は856,877件で、前年に比べ9,280件減少しました。

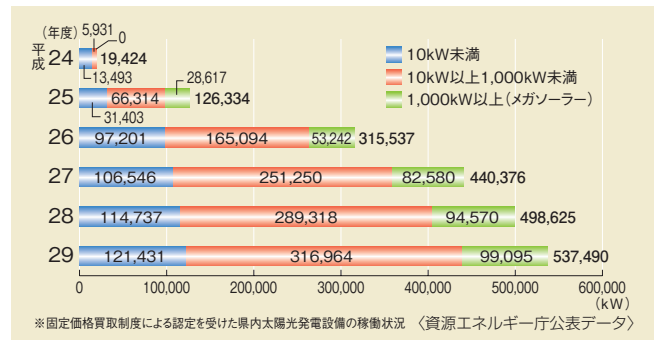
低公害車保有台数の推移 (各年3月末日現在)



燃料油販売量の推移



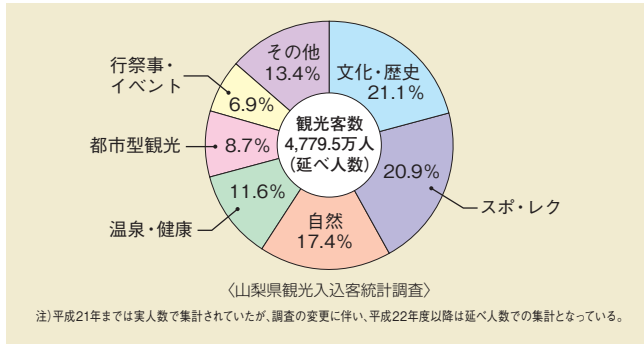
太陽光発電設備稼働状況(屋根置き含む)



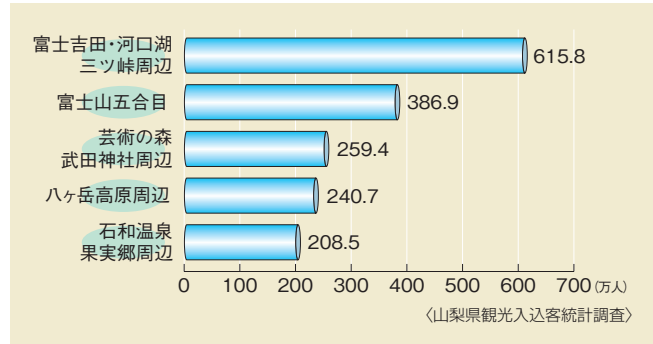
平成30年3月31日現在の低公害車保有台数は、ハイブリッド・プラグインハイブリッドが60,083台、電気・燃料電池・CNG・メタノールが633台で、2年前に比べそれぞれ16,201台(36.9%)、161台(34.1%)増加しています。

平成29年度の太陽光発電設備の稼働状況は537,490kWで、平成24年度に比べ518,066kW、約27倍に増加しています。

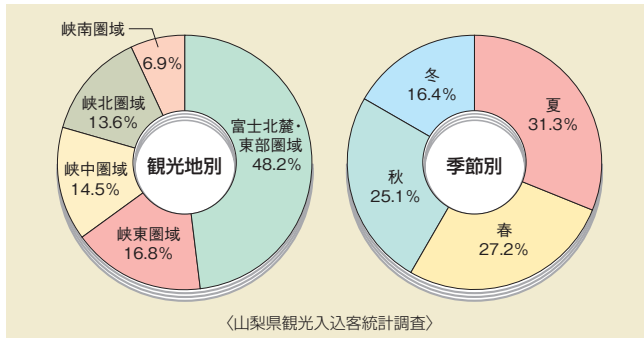
観光分類別観光客数の割合 (平成29年)



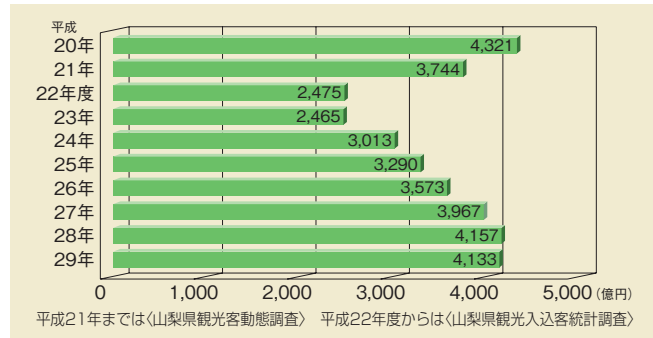
主な観光地別観光客数 (平成29年)



観光客数の割合 (観光地別、季節別) (平成29年)



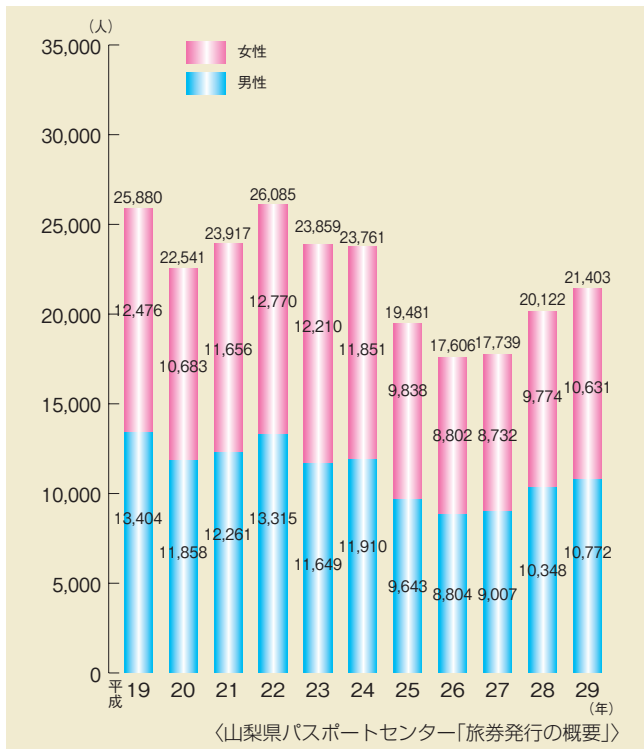
観光消費総額



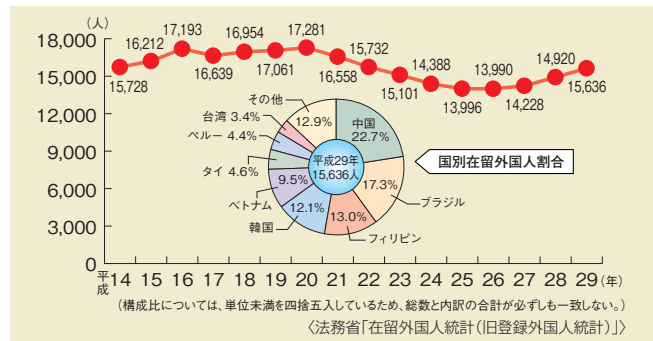
注)平成21年まで「山梨県観光客動態調査」、平成22年から全国共通基準に基づく「山梨県観光入込客統計調査」に変更。また、新基準の導入が平成22年4月のため、平成22年は年度集計(4月～3月)、平成23年以降は暦年集計(1月～12月)となる。

平成29年に本県を訪れた観光客数は、延べ人数4,779.5万人で、本県の文化・歴史を求めて訪れる人が一番多く、次にスポーツ・レクリエーションを求めて訪れる人が多くなっています。
 本県で最も多く観光客が訪れるのは、季節では夏に、観光地では、富士山や富士五湖を中心とする富士北麓・東部圏域となっています。
 平成29年の観光消費総額は、4,133億円となっています。

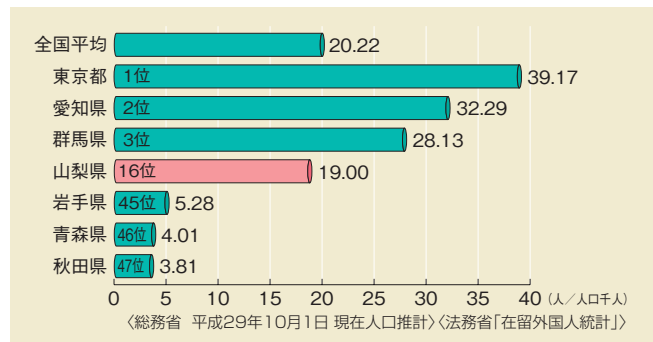
旅券発行数の推移



県内在留外国人(旧外国人登録者)の推移



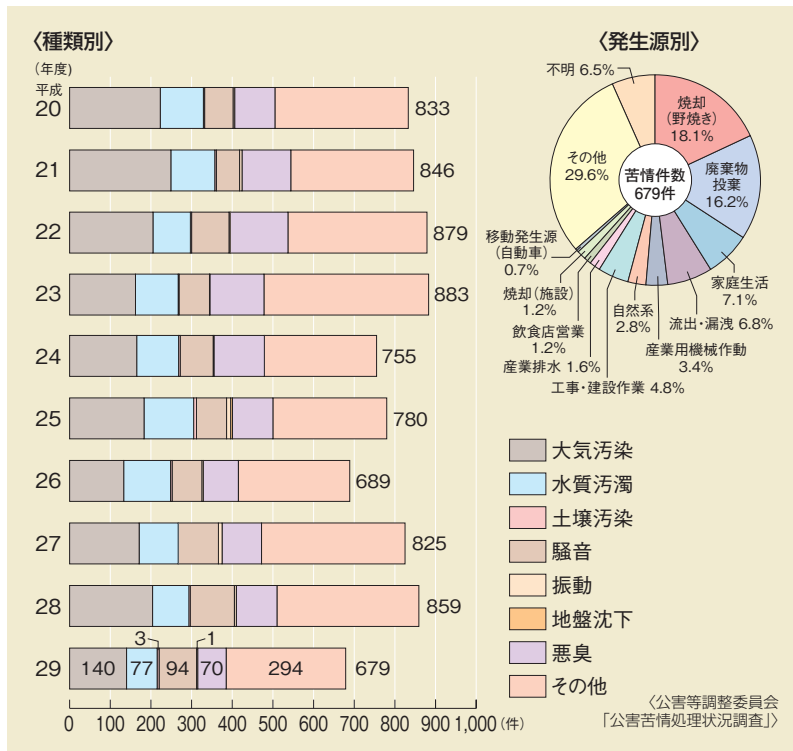
全国の在留外国人(人口千人当たり) (平成29年12月31日)



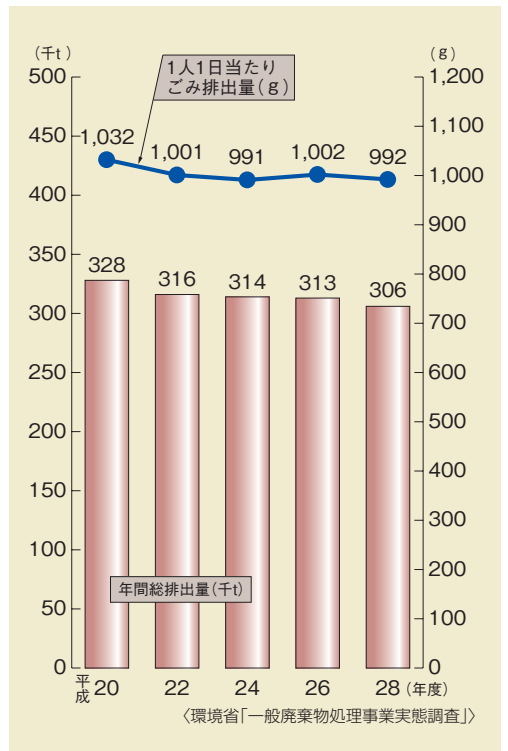
平成29年における旅券発行(者)数は21,403人で、前年に比べ1,281人(6.4%)増加しています。
 平成29年12月末現在の県内の在留外国人数は15,636人で、国別にみると、中国が最も多く22.7%、次いでブラジル17.3%、フィリピン13.0%の順となっています。
 人口千人当たりの在留外国人は19.00人と全国平均の20.22人を下回るものの、全国第16位となっています。

居住環境

公害苦情件数の推移・公害苦情の具体的原因割合 (平成29年度)

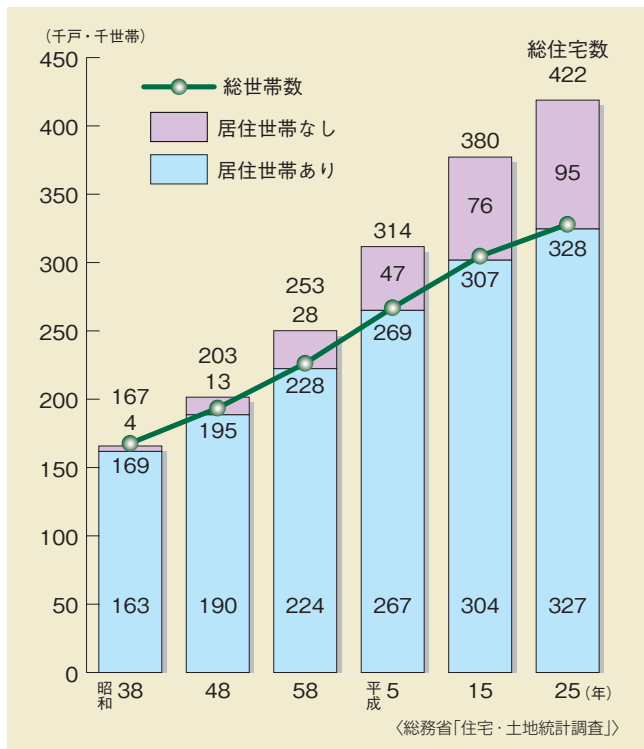


1人1日当たりごみ排出量と年間総排出量の推移

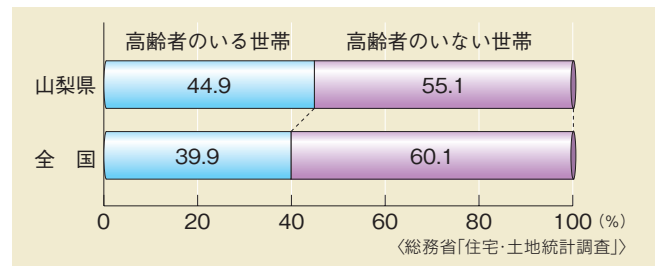


平成29年度の公害苦情件数は679件で、前年度に比べ180件減少しています。公害苦情件数を公害の種類別にみると、主な7つの公害に関する苦情が全体の56.7%を占めており、その中では、大気汚染、騒音、水質汚濁、悪臭の順となっています。

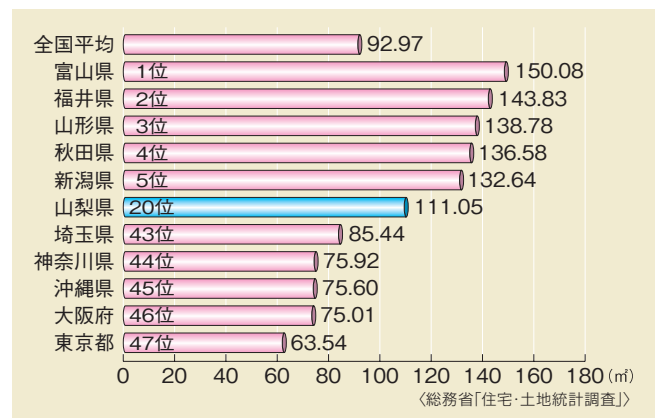
居住世帯の有無別住宅数・総世帯数の推移



高齢者のいる世帯の割合 (平成25年)

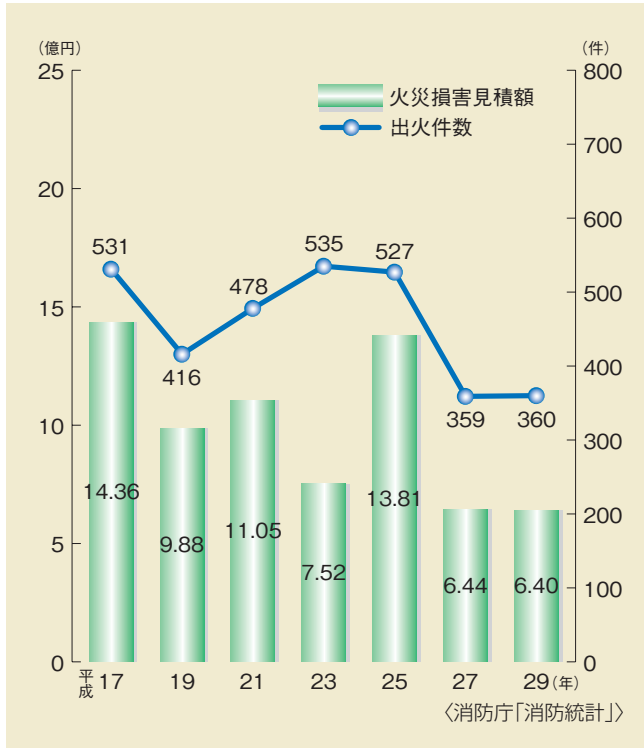


1住宅当たり延べ面積比較(専用住宅) (平成25年)

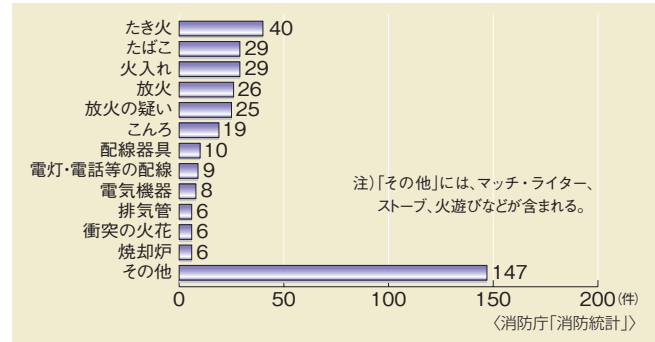


平成25年の居住世帯のある住宅数は32万6,700戸、居住世帯のない住宅数は9万5,400戸となっています。平成25年の本県の65歳以上の高齢者のいる世帯の割合をみると44.9%で、全国に比べて5.0ポイント高くなっています。平成25年の本県の1住宅当たり延べ面積(専用住宅)は111.05㎡で、全国平均(92.97㎡)より18.08㎡多くっており、全国順位第20位となっています。

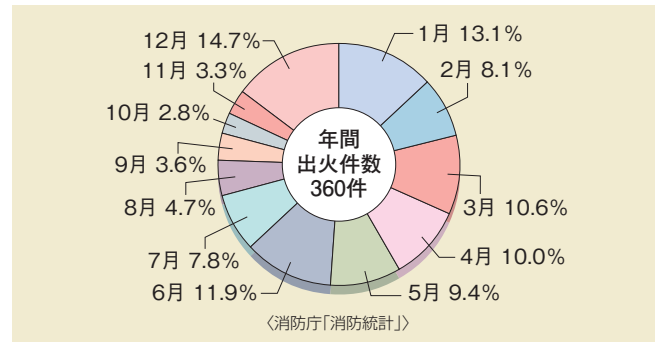
火災発生状況の推移



出火原因別・出火件数上位10位 (平成29年)



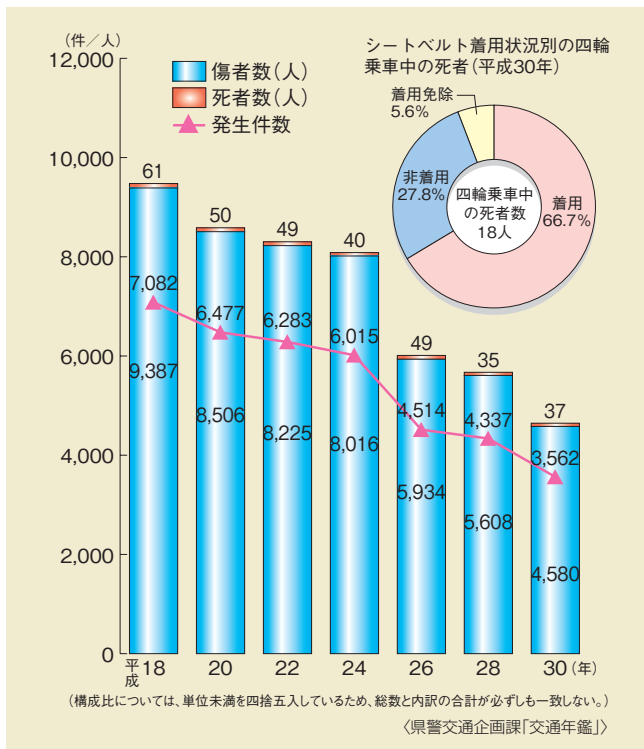
月別火災発生状況 (平成29年)



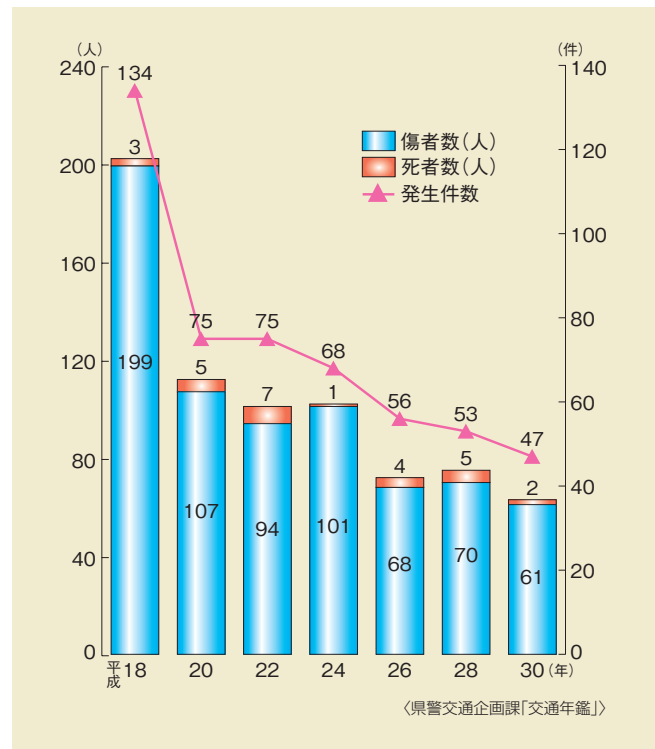
平成29年に発生した火災は360件で、2年前と比べるとほぼ同数です。損害見積額は、6億3,968万円で2年前より447万円減少しています。

また、平成29年中の月別火災発生件数では、12月が最も多く、出火原因別・出火件数では、たき火、たばこ、火入れ(枯草焼き等)が多くなっています。

交通事故発生件数等の推移



飲酒運転による交通事故発生件数等の推移



平成30年の交通事故発生件数は3,562件で、2年前と比べると775件減少し、死者数は37人で、2年前と比べると2人増加しました。

飲酒運転事故発生件数は47件で、2年前と比べると6件減少し、死者数は2人で、2年前と比べると3人減少しました。

山梨県統計グラフコンクール 入賞作品集

身近なこと、話題になっていること、気になったこと・・・
今年度も、たくさんのすばらしい作品が集まりました。

第 1 部 (小学校 1・2 年生)

知事賞 山梨学院小学校2年 大代 花凜さん

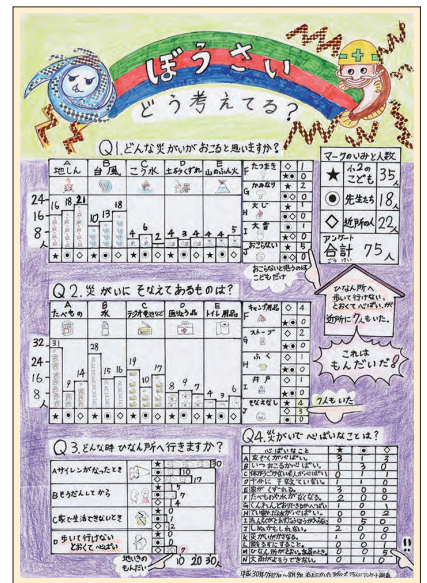


グローバルな視点で、実際にインタビューした結果を3種類のグラフで分かりやすくまとめてありますね。

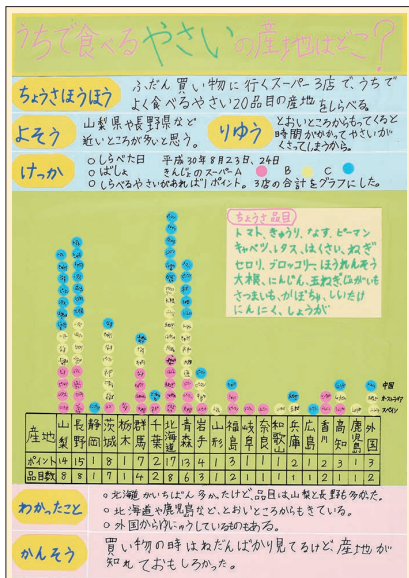
教育長賞

山梨学院小学校2年 岩瀬 憲跳さん

防災について、マークを使って見やすくまとめてあり、結果に対するコメントから思いが伝わってきますね。



教育長賞 山梨学院小学校2年 菊地 美晴さん

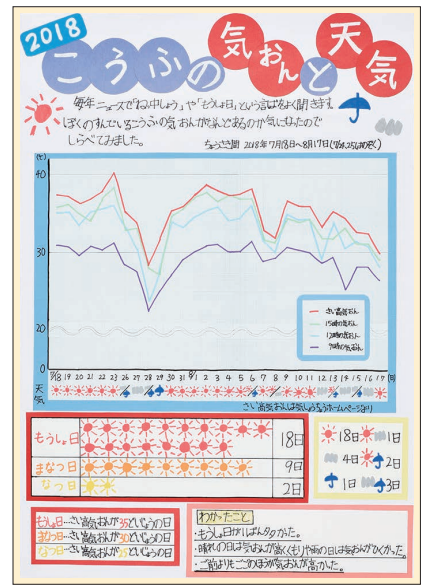


身近な問題について、調査方法→予想・理由→結果・グラフ→考察・感想という流れで上手にまとめていますね。

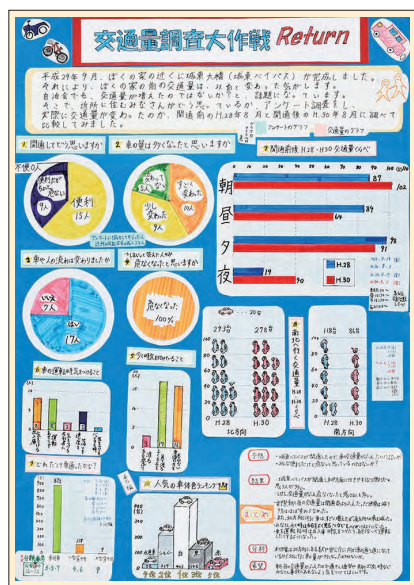


テーマにあった彩り豊かなポスターで、統計グラフだけでなく、色に関する話題も豊富で興味深いですね。

折れ線グラフや表を見やすくレイアウトしてあって、今年の夏の暑さが一目で伝わってきますね。



第2部 (小学校3・4年生)

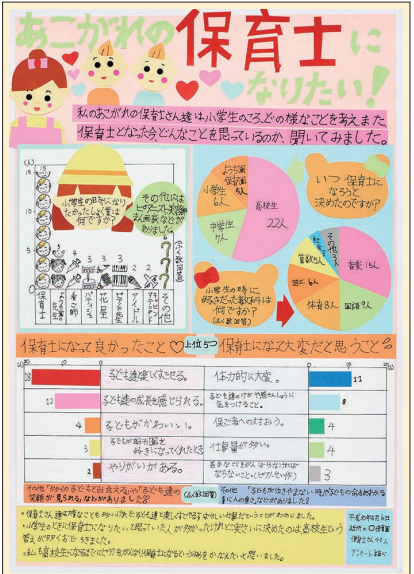


身近な道路の交通量について、グラフを用いて分かりやすく表しています。車が棒グラフになるなど、アイデアも豊かです。

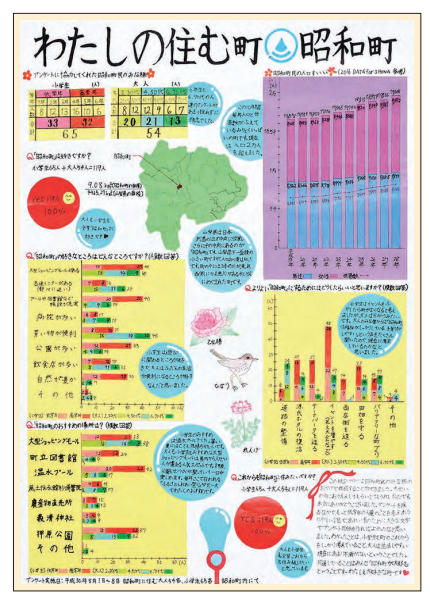
自分が住んでいる町について、丁寧に調査をしてグラフにまとめています。イラストも豊富で、町に対する愛着が伝わってきます。



教育長賞



自分にとってのあこがれの職業である保育士について丁寧にまとめています。イラストも可愛らしく、優しい気持ちにさせてくれる作品です。



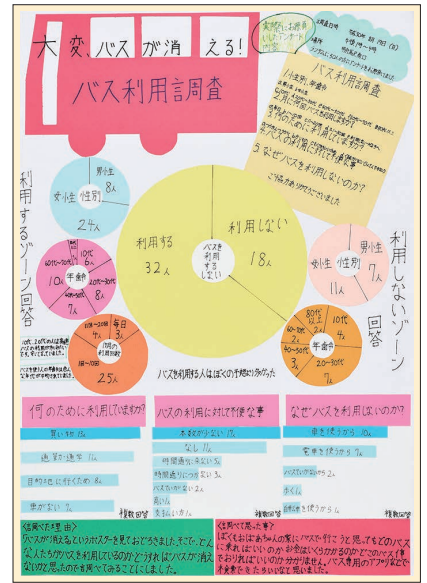
入選 山梨学院小学校3年 花輪 紀一郎さん



山梨の特産品を世界へ届けたいというメッセージが伝わってくる作品に仕上がっています。様々な調査結果を上手にレイアウトしています。

円グラフと棒グラフを効果的に使用し、分かりやすくまとめています。素朴な疑問からスタートし、自分の考えをしっかりと導き出すことができました。

入選 山梨学院小学校4年 小池 楓さん



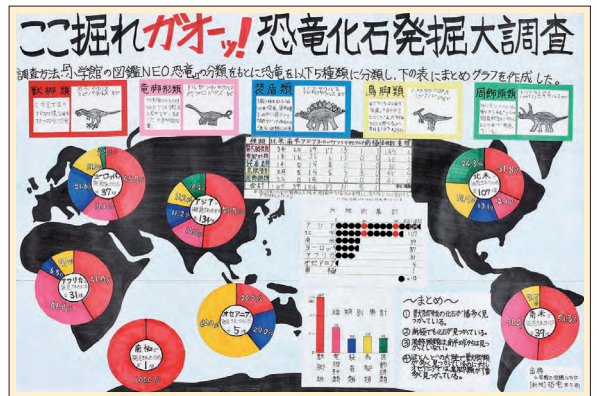
第3部 (小学校5・6年生)



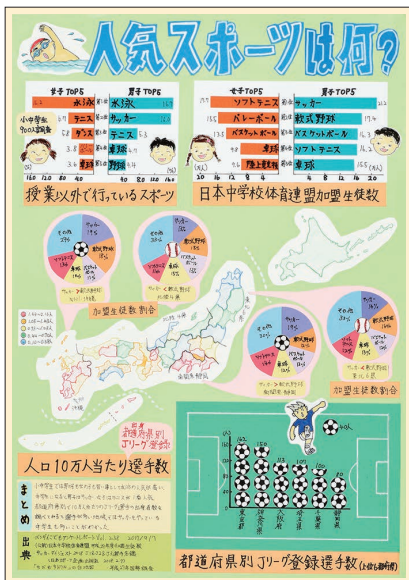
教育長賞 甲府市立相川小学校5年 井村 聡悠さん

新聞記事の内容に関心を持ち、丁寧に結果をまとめています。文字数や紙面の面積を比較した点もユニークです。

入選 甲府市立大國小学校5年 関本 結絆さん



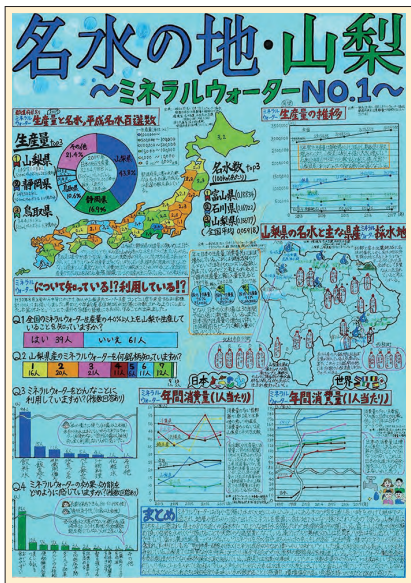
入選 山梨学院小学校5年 末木 琉偉さん



世界地図とグラフを組み合わせることで、恐竜の種類ごとの分布が分かるように工夫されています。タイトルもインパクトがあり、個性が感じられます。

小中学生に人気のある競技を様々なグラフで示しています。色々な競技のボールやキャラクターが、グラフと上手に組み合わせられています。

第4部 (中学生)



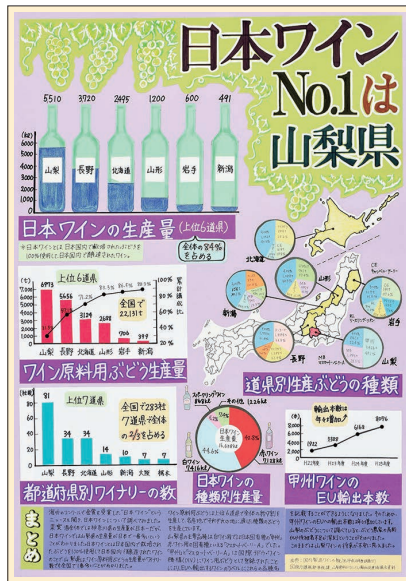
知事賞 山梨大学教育学部附属中学校3年 石原 永実菜さん

沢山の情報を多様なグラフを活用して見やすく表現し、アンケートでは少数意見も紹介するなど興味をひく内容ですね。

教育長賞

山梨学院中学校1年 末木 優衣さん

ワインボトルをグラフにするなどの工夫がされており、非常にデザイン性の高い作品です。各種のグラフも適切で、丁寧にまとめられています。



教育長賞

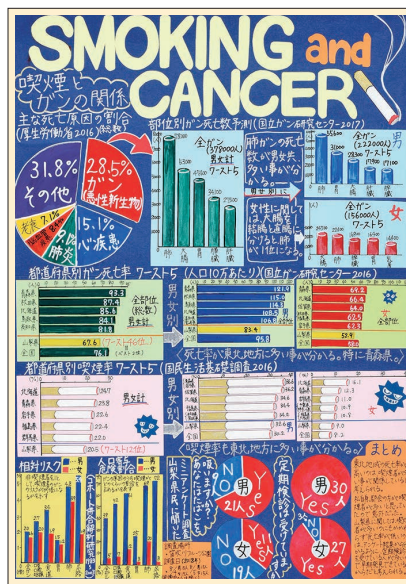
山梨大学教育学部附属中学校3年 上田 歩実さん

全国
コンクール
佳作

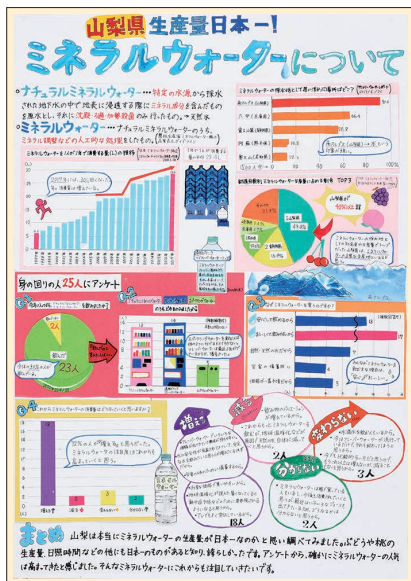
山梨県の図書館の充実ぶりや利用状況が伝わるように、図書館らしいデザインで分かりやすくまとめていますね。

入選

山梨学院中学校3年 八田 妃花さん



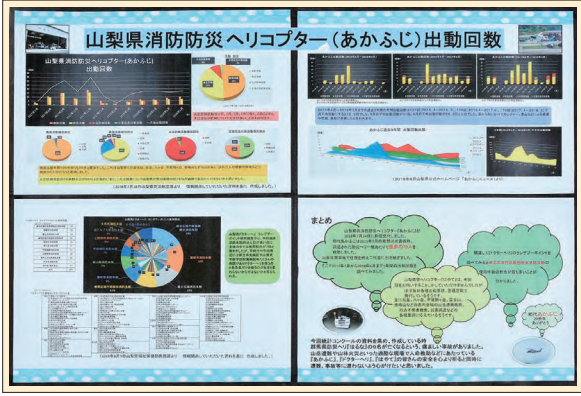
入選 北本市立甲陵中学校2年 坂口 七海さん



喫煙とガンの関係について、2種類のデータを比較しやすいグラフにまとめてあり、健康推進を呼びかけていますね。

ミネラルウォーターに関する情報やアンケート調査結果を、多様なグラフを使って見やすく表現していますね。

パソコン統計グラフの部 (小学生以上)



知事賞 山梨学院中学校2年 小俣 大翔さん

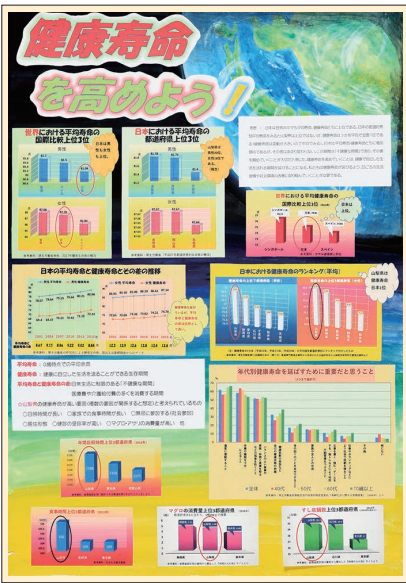


パソコンの機能を十分に生かして、緻密な分析と的確な考察がなされています。また、視覚的にも非常に見やすく構成されています。

実際に聞き取り調査を行い、結果を踏まえてさらにインタビューをしています。また、用いられているグラフも適切です。

教育長賞

山梨学院中学校2年 清水 優圭さん

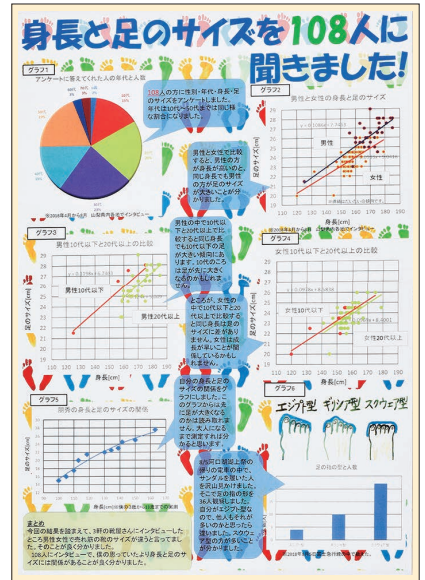


全体的なインパクトもありデザイン性が高く、見る者へ訴えかける工夫もされています。また、考察も的確に書かれています。



教育長賞

山梨学院中学校1年 古屋 朋秀さん

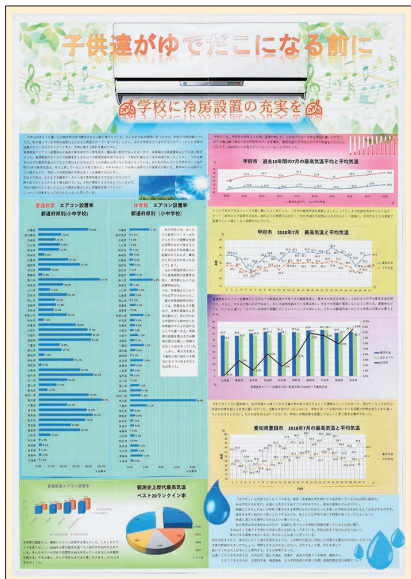


入選

山梨学院中学校3年 片桐 有彩さん

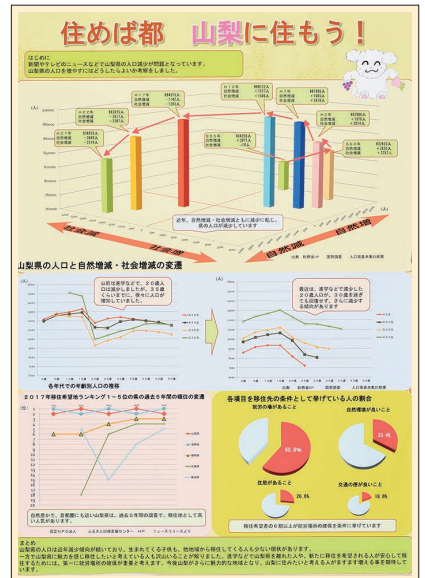
入選

山梨大学教育学部附属中学校2年 吉原 李音さん



グラフに立体感を持たせ、多角的・多面的な視点で分析した結果、パソコンをうまく活用して表現されています。

まさに今年の夏を象徴する作品であり、猛暑の中、教室で学ぶ生徒自身が説得力を持って訴えかける作品です。

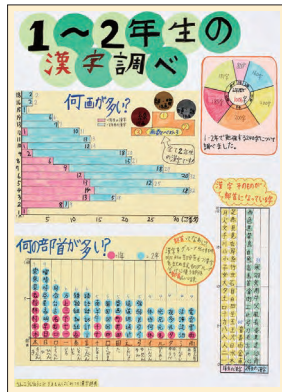


各部門佳作

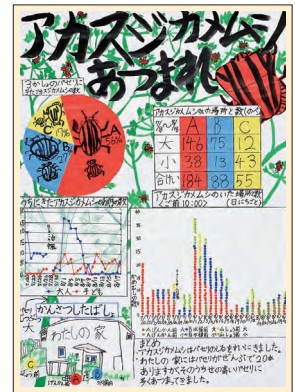
第1部 山梨学院小学校2年
遠藤 紗さん



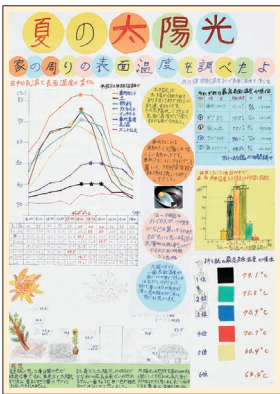
第1部 山梨学院小学校2年
齋藤 壺成さん



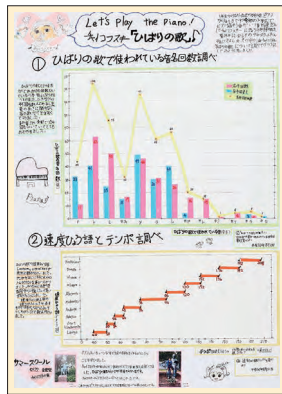
第1部 山梨学院小学校2年
古屋 絵梨果さん



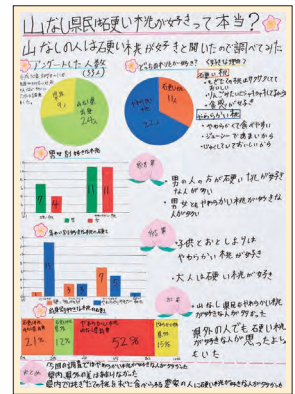
第2部 山梨学院小学校3年
岩田 悠助さん



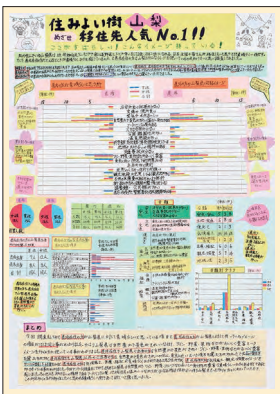
第2部 山梨学院小学校3年
武井 心暖さん



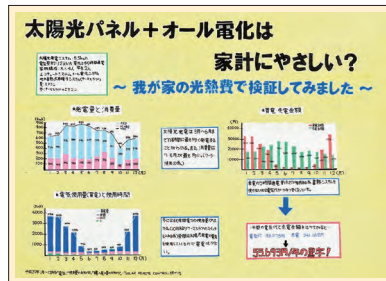
第2部 山梨学院小学校3年
成宮 寿哉さん



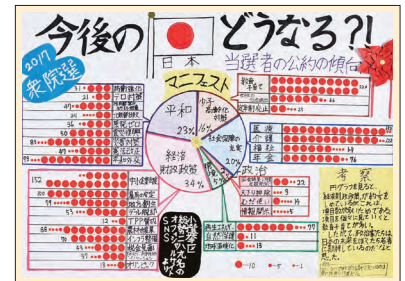
第2部 山梨学院小学校4年
片桐 帆乃美さん



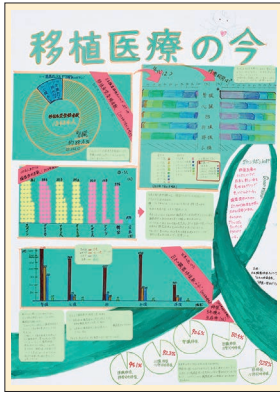
第4部 駿台甲府中学校1年
横田 葵さん



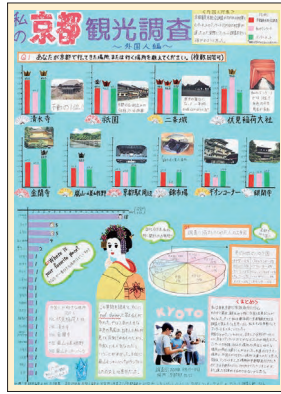
第4部 山梨学院中学校1年
高村 俊太さん



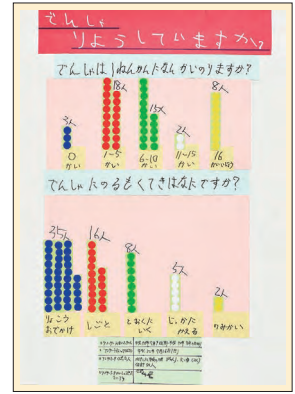
第4部 山梨学院中学校2年
千葉 優月さん



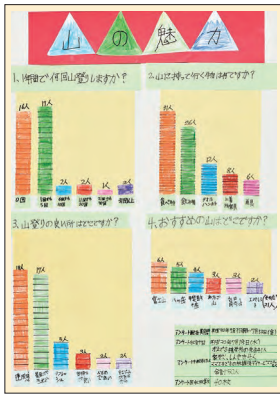
第4部 山梨学院中学校3年
相川 莉穂さん



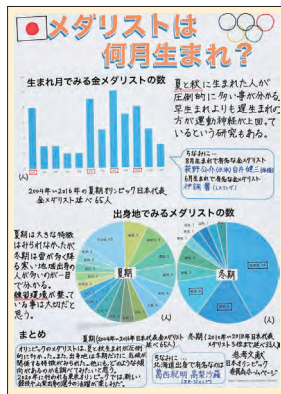
第5部 山梨県立かえで支援学校高等部2年
中澤 宏斗さん



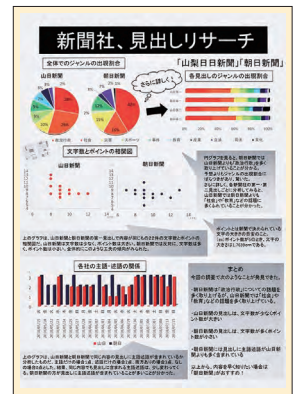
第5部 山梨県立かえで支援学校高等部2年
古屋 宇基さん



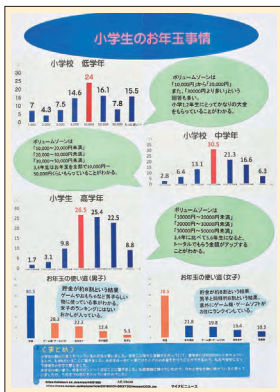
パソコン統計グラフの部
北杜市立甲陵中学校2年
依田 にこさん



パソコン統計グラフの部
山梨学院中学校3年
池田 杏梨さん



パソコン統計グラフの部
甲府市立甲府商業高等学校1年
笹本 葉月さん



パソコン統計グラフの部
北杜市立甲陵高等学校2年
古田 健作さん



山梨県統計グラフコンクールは、統計グラフの作成を通して、皆さんに統計を理解し、親しんでいただくことを目的として毎年開催しており、昭和28年に第1回のコンクールがスタートしてから、今年で66回目となりました。

今回は737点の応募がありましたが、この作品集には、各部門の知事賞4点、教育長賞9点、入選10点、佳作17点の計40点を掲載してあります。

統計グラフにチャレンジしてみませんか!?

統計は、データを集めて集計しただけでは、単なる数字の集まりですが、グラフに表すことによって数字だけでは分かりにくいことが、容易に分かるようになったり、自分の考えていることを相手に的確に伝えることができます。また、意外な事実初めて気が付くこともあります。

まずは、疑問に思ったことや感じたことなど身近なことをグラフにしてみませんか!?

統計グラフの作成手順



「山梨県統計グラフコンクール」では、統計グラフの作成を通して、統計を理解し、親しみを深めてもらうことを目的として、統計グラフを募集します。

県内在住、在学、在勤で、小学生以上の方ならどなたでも応募できます。テーマは自由!!

過去の入賞作品や応募方法については、県HP「やまなしの統計」を御覧ください。

自分の作品を多くの県民のみなさんに見てもらおうチャンスです。ふるって御応募ください。

「やまなしの統計」ホームページ https://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/



「統計からみたやまなし — 平成30年度 —」

平成31年3月発行

山梨県県民生活部統計調査課

〒400-8501 甲府市丸の内一丁目6-1

☎ 055(223)1340

URL https://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/